

2024 年度 新入生の留学に関する実態調査

2026 年 03 月

東北大学 高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41

目次

【調査概要】.....	3
【総括】.....	4
【集計結果】.....	7
1. 回答者プロフィール.....	7
【性別・学部】.....	7
【過去の国際経験】.....	8
【出身地・家計の経済状況】.....	10
2. 留学の有用性.....	12
【現地留学】.....	12
【オンライン留学】.....	16
3. 留学に対する志向.....	19
【積極層（留学が決まっている・留学したい）】.....	20
【浮動層（留学を迷っている・留学したいかわからない）】.....	24
【消極層（留学したいと思わない）】.....	29

【調査概要】

東北大学高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンター（以下、GLC）は、2019年度と2022年度に学部1・2年生を対象として、留学の有用性、留学に対する志向とその理由等に関するアンケート調査「留学に関する実態調査」を実施してきた。3回目となる2024年度は学部1年生を対象に実施した。

本調査は、2024年10月1日～10月21日ⁱに1年生の必修科目「英語 II-A」において実施した。本報告書では同科目を通じて収集した回答をもとに、学部1年生の留学に関する意識と実態を分析し、その結果を報告する。

本調査の実施にあたり、「英語 II-A」担当教員各位の多大なる協力を得た。ここに感謝申し上げる。また、本調査に回答した学生の皆さんの協力に深く謝意を表す。調査結果を踏まえ、今後の留学機会および国際的な学習機会の拡充に資する施策の検討を進めていく。

1. 調査対象 東北大学学部1年生
2. 調査時期 2024年10月1日～10月21日
3. 調査方法 学部1年生の必修科目「英語 II-A」において調査案内を行い、オンライン回答を依頼
4. 有効回答 1,618名（有効回答率：64.7% / 入学者数2,499名）ⁱⁱ
5. 本調査に関する問い合わせ先： glc.study.abroad@grp.tohoku.ac.jp
（担当：グローバルラーニングセンター教授 渡部由紀）

ⁱ 2019年度は10月、2022年度は6月に実施した。

ⁱⁱ 各実施年度の回答率は2019年度が67.6%、2022年度が46.4%であった。

【総括】

1. 回答者プロフィール

2024年度の回答者総数は1,618名で、新入生全体の64.7%に相当する。性別構成は、男性65.8%、女性32.9%、その他0.0%、回答しない1.2%、未回答0.1%であり、概ね入学者の男女比を反映している。所属学部は、文系27.8%、理系72.2%であり、これも入学者構成と概ね一致している。

過去の国際経験については、海外渡航経験、学内の留学生との接触、留学経験の3点から整理した。まず、海外渡航経験を有する回答者の割合は36.9%であり、2019年度と比較して20.3ポイント減少した。一方、学内の留学生と知り合った経験を有する回答者の割合は55.0%であり、本調査開始以降、初めて5割を超えた。最後に、留学経験については、現地留学経験6.7%、オンライン留学経験0.4%で、いずれも2022年度から減少した。これらは、高校段階における海外研修や交換留学機会の減少を反映したものと考えられる。

家計状況については、2024年度調査から質問設計を変更し、家庭の暮らし向きに関する主観的評価に加えて、家族の世帯年収の回答を求めた。世帯年収は、「わからない」が41.5%と最も多く、次いで、「900万円以上」29.8%、「600万円以上900万円未満」14.4%、「400万円以上600万円未満」8.2%、「400万円未満」6.2%であった。主観的な家庭の暮らし向きでは、「余裕がある(やや余裕がある、余裕がある、大変余裕がある)」が81.9%、「苦しい(やや苦しい、苦しい、大変苦しい)」が18.1%であった。ただし、過去2回の調査では、「苦しい(やや苦しい、苦しい)」が約65%、「余裕がある(やや余裕がある、余裕がある)」が約35%であったことから、今回の結果とは大きく異なる。この違いは、質問項目の変更(世帯年収の追加)による影響と考えられ、経年比較には慎重な解釈が求められる。

現在受けている経済支援に関する質問では、約7割が「いずれの支援も受けていない」と回答しており、過去2回の調査と同様の傾向であった。

なお、本調査の回答率は新入生全体の約6割にとどまっており、未回答者が約4割存在する。未回答者の属性は把握できないが、留学は経済的な負担が大きいと認識されやすいことを踏まえると、経済的に困難な学生が本調査に回答していない可能性がある点には留意が必要である。

2. 留学の有用性

留学の有用性については、現地留学およびオンライン留学それぞれについて複数の項目を設定し、回答を求めた。

現地留学については、11項目に対して留学の有用性を評価してもらった。その結果、「リーダーシップの向上」「専門分野の知識・技術の習得や今後の研究活動」を除く9項目（「外国語運用能力の向上」「コミュニケーション力の向上」「異文化交流・異文化理解の深化」「国際的な視野を持つこと」「自発的な行動力の向上」「国際教養の醸成につながる知識の習得」「進学も含めた将来の人生設計」「就職」「友人・知人関係などの人的ネットワークの形成」）において、回答者の90%ⁱⁱⁱ以上が「有用（役に立つ、ある程度役に立つ）」と回答した。これらの割合は、2019年度に調査を開始して以降、増加傾向にある。特に、2024年度の結果では、将来のキャリアに関わる指標である「進学も含めた将来の人生設計」（2019年度調査から13.1ポイント増）および「就職」（同9.2%ポイント増）に加え、社会人基礎力の「前に踏み出す力」に関連する「自発的な行動力の向上」（同11.0ポイント増）において、「役に立つ」と回答した割合が2019年度と比較して、おおむね1割程増加するなど、顕著な上昇が認められた。

オンライン留学については、前述の11項目に「現地留学の準備」を加えた12項目について有用性の評価を求めた。12項目のうち90%以上が「有用（役に立つ、ある程度役に立つ）」と回答した項目は、「現地留学の準備」のみであり、80%以上に達した項目も「外国語能力の向上」「国際教養の醸成につながる知識の習得」の2項目にとどまった。他項目は相対的には有用性の認識が現地留学に比べて高くはないものの、将来のキャリアに関わる指標である「進学も含めた将来の人生設計」（70.0%、前回調査から7.8ポイント増）および「就職」（56.5%、同6.0ポイント増）では、前回調査より「有用」とする回答割合が5ポイント以上増加しており、オンライン留学においても、キャリア形成に対する有用性の認識が高まりつつあることが確認された。

3. 留学志向

留学志向は、積極層（留学が決まっている、留学したいと思う）35.7%、浮動層（留学を迷っている、留学したいかわからない）39.8%、消極層（留学したいと思わない）24.5%であった。過

ⁱⁱⁱ 「就職」は、有用とした回答者の割合は89.1%であった。

去の調査と比較しても構成比は大きく変わらず、概ね安定している。ただし、本調査への未回答者の存在を踏まえると、実際には浮動層および消極層がより多い可能性がある。

まず、積極層では、希望する留学および留学の理由について、回答を求めた。留学時期は、学部在学中(88.0%)が中心で、次いで、大学院修士課程(36.8%)、大学卒業後(18.1%)、博士課程(10.3%)であった。留学形態については、交換留学(56.4%)が最多で、研究留学(48.9%)も高い割合を占めた。短期留学は、東北大学が提供する集団型短期留学プログラムである「スタディアブロードプログラム(SAP)」(51.0%)、「所属学部の海外研修プログラム」(33.8%)、「教員引率型プログラム(FL)」(32.4%)を希望する学生の割合が高かった。一方、個人型短期留学プログラムである「グローバルラーニングセンターの海外体験プログラム」(18.9%)および「グローバルラーニングセンターのショートプログラム」(17.2%)を希望する学生は、2割未満にとどまった。

留学理由については、「語学力向上のため」(78.9%)が最も多く、「異文化交流・異文化理解をしたいから」(40.7%)、「コミュニケーション力向上のため」(34.1%)、「外国生活によって視野を広げたいから」(33.7%)が続いた。これらは、いずれも異文化適応力や対人能力の向上に関わる理由と整理できる。一方、「進学も含めた将来のキャリアのため」(20.1%)は約2割にとどまり、学部1年生の段階では、留学が明確なキャリア戦略として位置付けられていないことが示唆される。

次に、浮動層および消極層には、留学をためらう、あるいは留学したいと思わない理由について、回答を求めた。両層ともに、「海外での生活に不安を感じるから」(浮動層:89.0%、消極層:90.7%)、「留学費用がかかるから」(浮動層:89.0%、消極層:89.7%)、「語学力に自信がないから」(浮動層:87.7%、消極層:84.9%)が共通して高く、いずれも約9割があてはまる(あてはまる、どちらかと言えば、あてはまる)と回答した。過去2回の調査結果においても、同様の傾向が確認できており、これらが留学を阻む共通の要因であることが示された。

一方、浮動層と消極層の間で差が見られた項目は、「東北大学の授業に満足しているから」(浮動層:55.9%、消極層:74.1%)と「キャリアと関係がないから」(浮動層:22.4%、消極層:47.9%)で、いずれの項目においても、消極層で、あてはまると回答した割合が高く、現在の学習環境への満足感や将来のキャリアとの結びつきの弱さが、留学回避により強く作用している可能性が示唆された。

【集計結果】

本章では、2024年度調査における各設問の回答結果を単純集計した結果し、第1回(2019年度)および第2回(2022年度)との経年比較を併せて提示する。分析は、1. 回答者プロフィール、2. 留学の有用性、3. 留学志向の3領域に区分して行った。

1. 回答者プロフィール

【性別・学部】

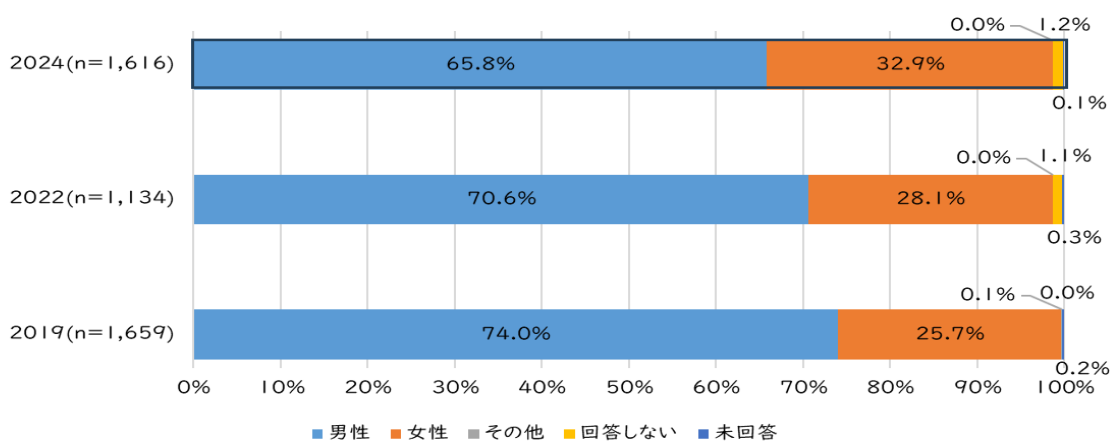
問1. 性別

※各年度の入学者数に占める女子学生の割合

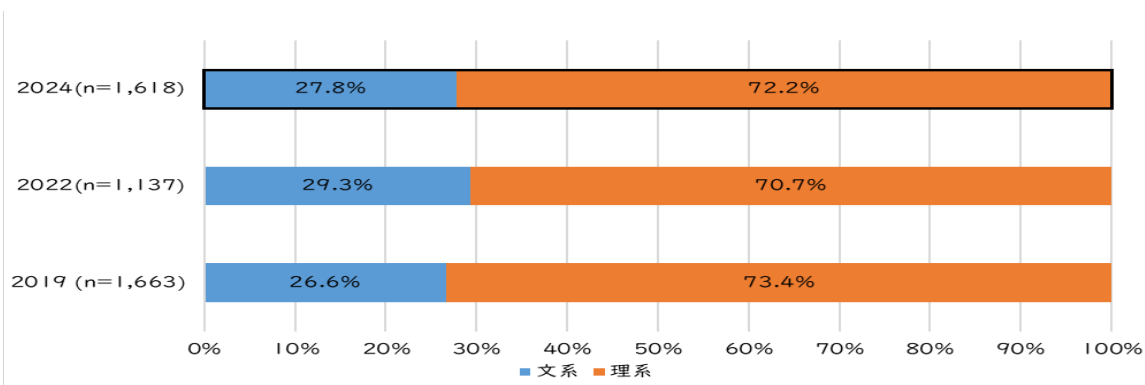
2024年度:30.2%

2022年度:27.1%

2019年度:25.6%



問3. 所属学部

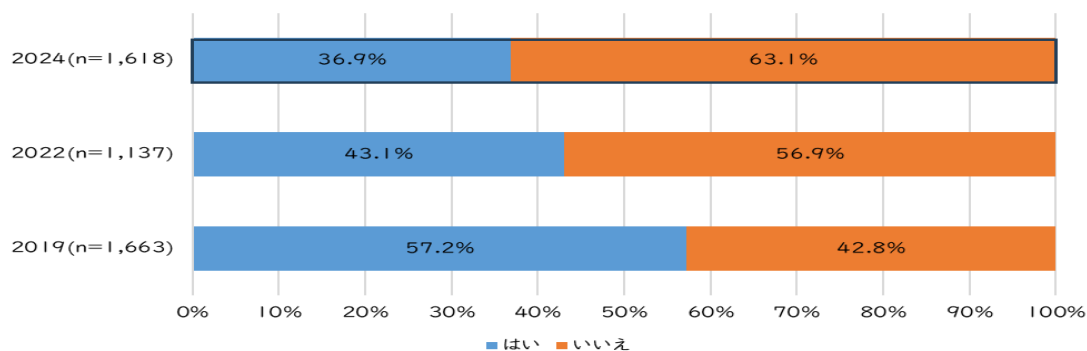


学部別回答者数

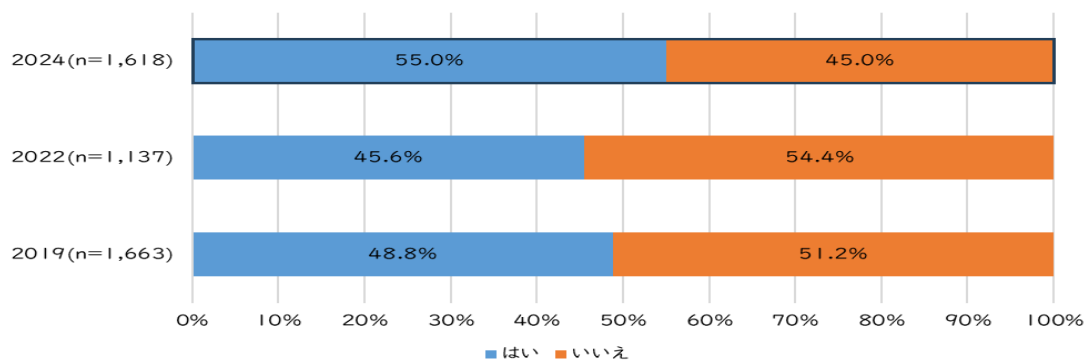
学部	2024				2022	2019
	回答者数	割合	入学者数	割合	回答者数	回答者数
文学部	128	7.9%	225	9.0%	107	106
教育学部	46	2.8%	74	3.0%	41	54
法学部	110	6.8%	170	6.8%	76	64
経済学部	166	10.3%	267	10.7%	109	219
文系小計	450	27.8%	736	29.5%	333	443
理学部	219	13.5%	330	13.2%	133	197
医学部	187	11.6%	271	10.8%	130	201
歯学部	27	1.7%	53	2.1%	23	43
薬学部	40	2.5%	88	3.5%	42	2
工学部	590	36.5%	863	34.5%	388	644
農学部	105	6.5%	158	6.3%	88	133
理系小計	1,168	72.3%	1,763	70.4%	804	1,220
合計	1,618	100.0%	2,499	100.0%	1,137	1,633

【過去の国際経験】

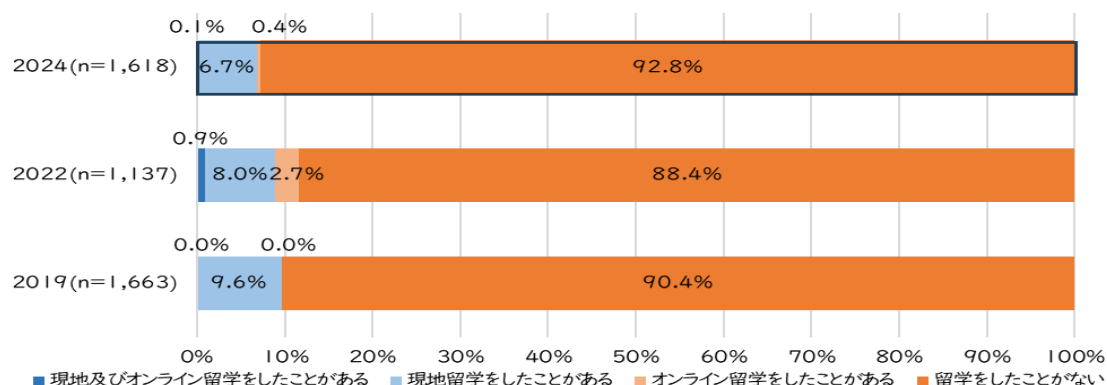
問7. これまでに、海外に行ったことがありますか。



問8. これまでに、学内の留学生と知り合ったことがありますか。



問9. これまでに、留学したことがありますか。



※2019年度はオンライン留学に関する選択肢はなかった。したがって、選択肢は「はい(=現地留学をしたことがある)」と「いいえ(=留学をしたことがない)」のみであった。

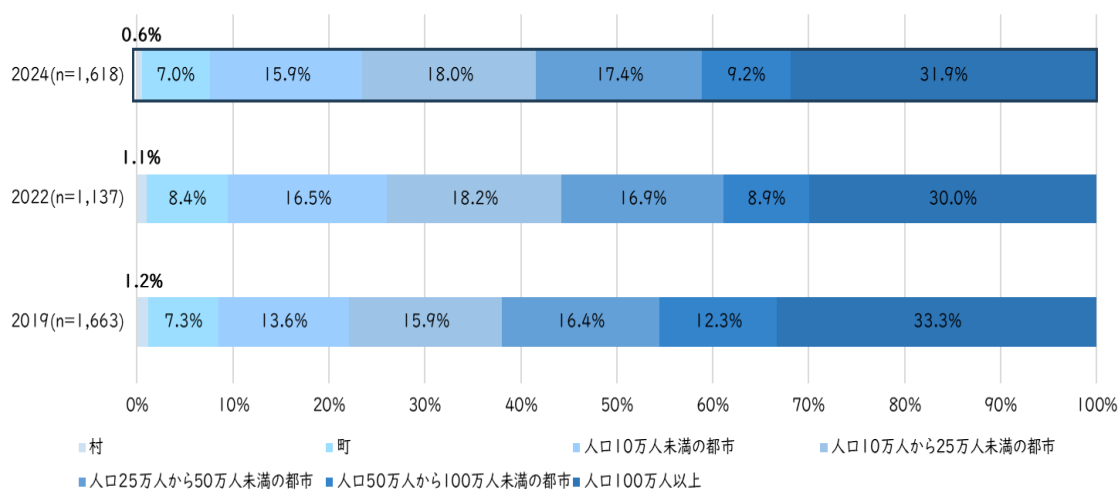
問10. これまでに、どんな留学をしましたか。

全回答者に占める回答者の割合

留学の種類	2024	2022	2019
	回答者(n=124)	回答者(n=153)	回答者(n=195)
その他	25.0%	13.1%	14.9%
【現地留学】東北大学の入学前海外研修	25.0%	4.6%	9.7%
【現地留学】短期海外研修・教員引率型プログラム(FL)	12.1%	6.5%	6.2%
【現地留学】その他の語学・文化研修	11.3%	11.8%	10.8%
【現地留学】高校の海外研修旅行	10.5%	23.5%	32.3%
【現地留学】短期海外研修:スタディアブロードプログラム(SAP)	8.1%	5.2%	12.8%
【現地留学】高校での交換留学	2.4%	9.8%	10.8%
【現地留学】海外ボランティア	1.6%	1.3%	0.5%
【現地留学】所属学部の海外研修プログラム	1.6%	0.0%	0.5%
【オンライン留学】東北大学の入学前海外研修プログラム(オンライン)	0.8%	22.2%	0.0%
【オンライン留学】グローバルラーニングセンターが提供するオンライン短期研修プログラム	0.8%	1.3%	0.0%
【オンライン留学】海外大学が提供するオンライン短期研修プログラム	0.8%	0.7%	0.0%
【現地留学】グローバルラーニングセンターのショートプログラム	0.8%	0.0%	1.0%
【現地留学】海外インターンシップ	0.8%	0.0%	0.5%
【現地留学】グローバルラーニングセンターの海外体験プログラム	0.8%	0.0%	0.0%

【出身地・家計の経済状況】

問25. あなたの出身(15歳までに過ごした主なところ)は、どのようなところですか。1つ選んで下さい。



問26. あなたの出身県を選択してください。

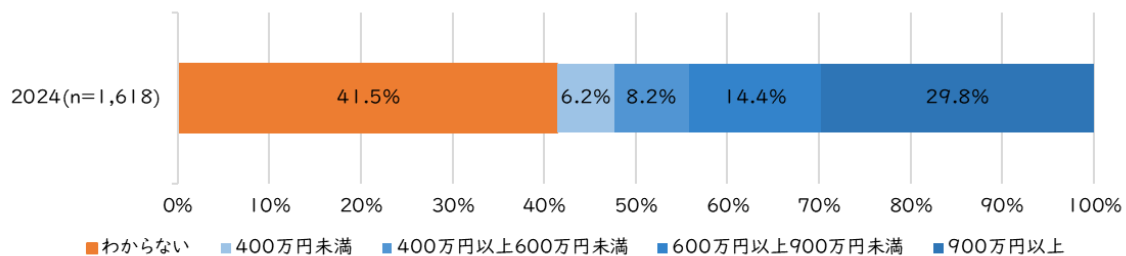
※2024年度から新たに追加した質問。

全回答者に占める回答者の割合

地域	2024	
	回答者(n=1,618)	入学者(n=2,499)
北海道	3.7%	3.6%
宮城	13.9%	13.0%
東北(宮城以外)	23.9%	22.8%
北関東	16.5%	16.2%
南関東	25.5%	26.8%
東海	6.2%	6.1%
北陸	2.7%	2.7%
近畿	3.8%	4.1%
中国	1.4%	1.4%
四国	0.6%	0.6%
九州・沖縄	1.0%	1.2%
その他	0.9%	1.5%

問27. あなたのご家族全体の世帯年収について、当てはまるものを1つ選んでください。

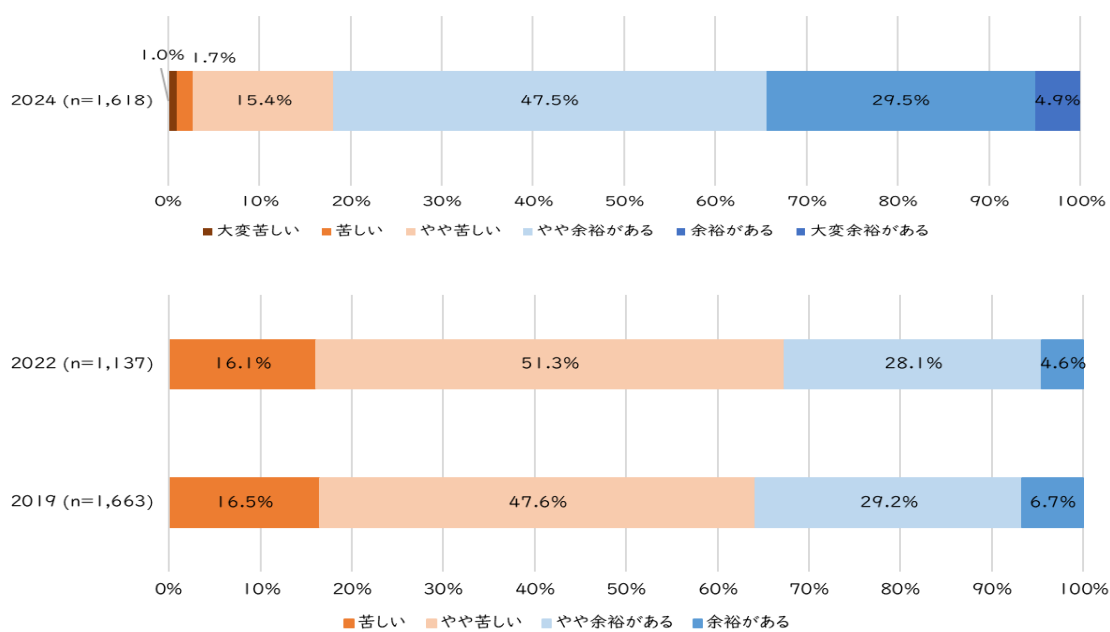
※2024年度から新たに追加した質問。



問 32. あなたのご家庭の暮らし向きについて、どう感じますか。一つ選んでください。

※過去2回の調査の質問は、「問26. 保護者を含む自身の家計について、どう感じますか。

1つ選んでください。」で、回答の選択肢は4つであった。



問31. あなたが現在受けている経済支援について、該当するものをすべて選んで下さい。

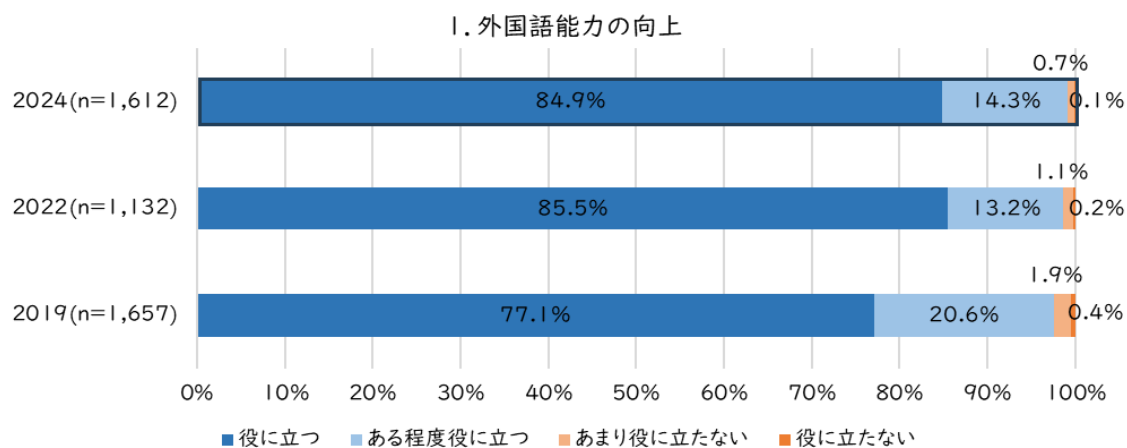
全回答者に占める回答者の割合

経済支援の種類	2024	2022	2019
	回答者(n=1,760)	回答者(n=1,228)	回答者(n=1,679)
いずれも受けていない	68.7%	66.9%	68.0%
日本学生支援機構の奨学金	16.7%	19.2%	21.0%
授業料免除	4.7%	3.2%	0.1%
地方公共団体・民間奨学団体の奨学金(給付型)	3.6%	3.5%	3.5%
地方公共団体・民間奨学団体の奨学金(貸与型)	2.8%	2.9%	3.2%
その他	1.9%	1.4%	1.4%
金融機関等の学資ローン	1.0%	2.0%	2.3%
授業料の徴収猶予・月額分納	0.6%	1.0%	0.5%

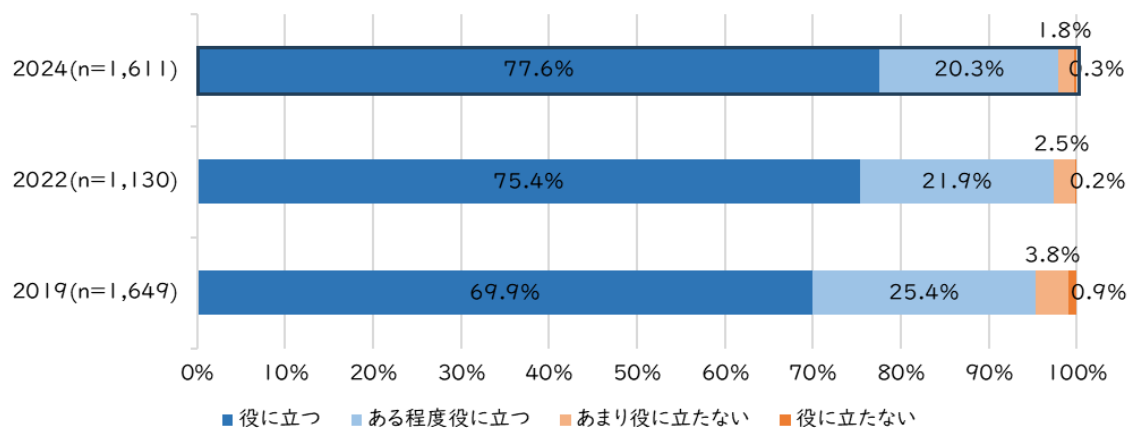
2. 留学の有用性

【現地留学】

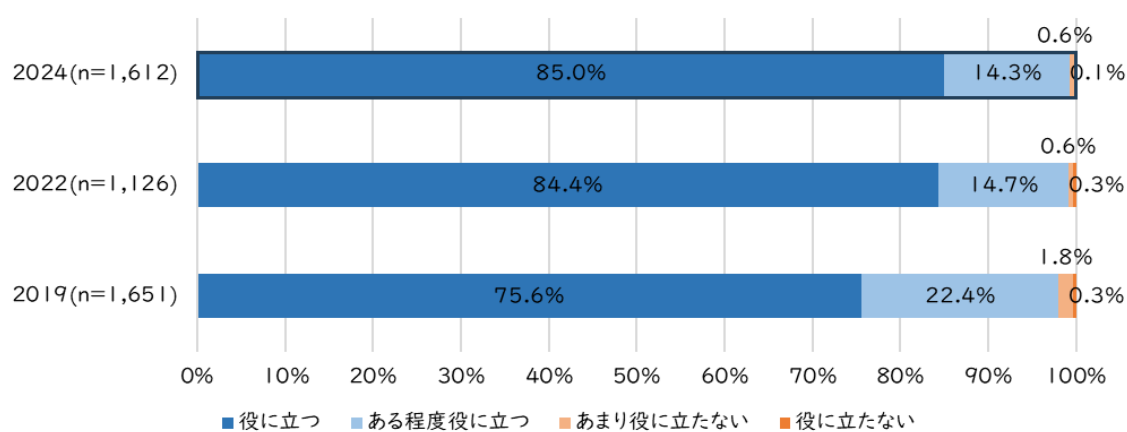
問5. 現地留学は、次のことに、どの程度役に立つと思いますか。



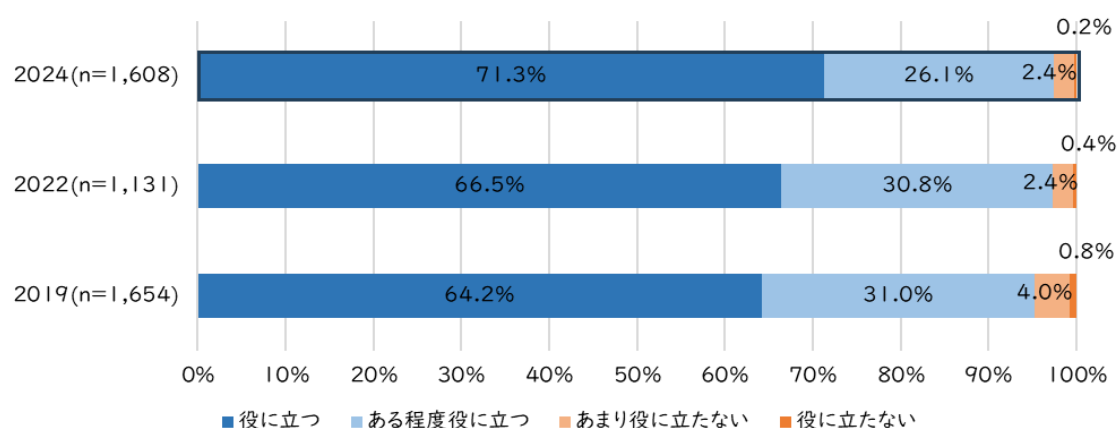
2. コミュニケーション力の向上



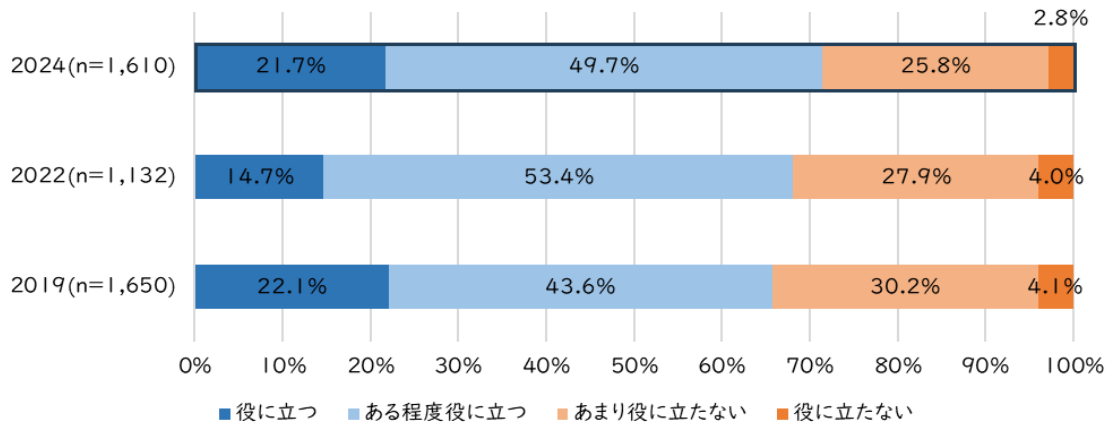
3. 異文化交流・異文化理解の深化



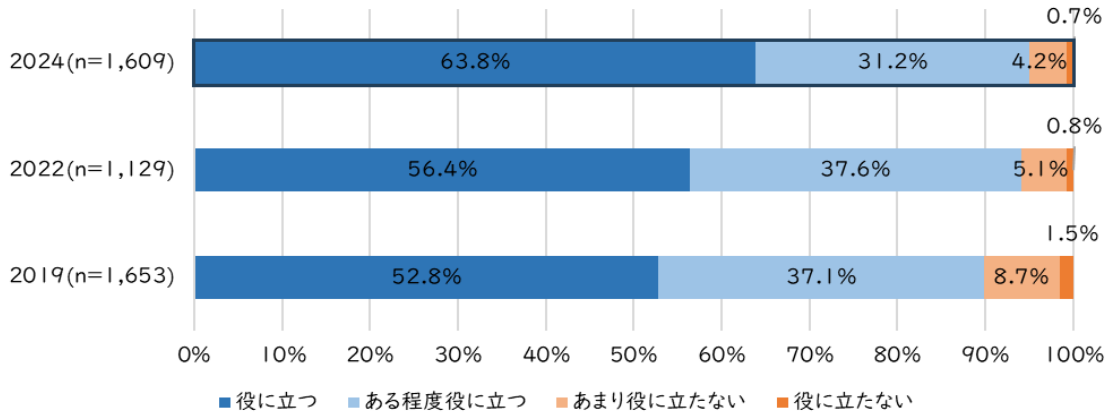
4. 国際的な視野を持つこと



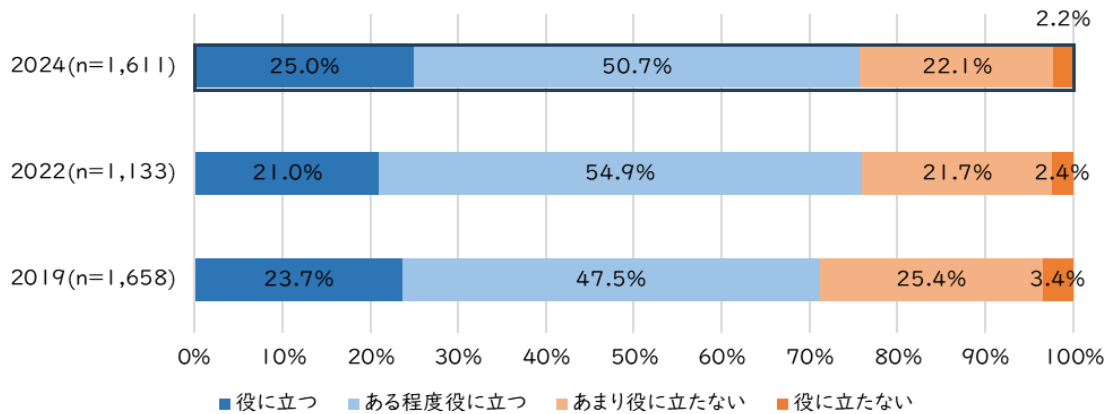
5. リーダーシップの向上



6. 自発的な行動力の向上

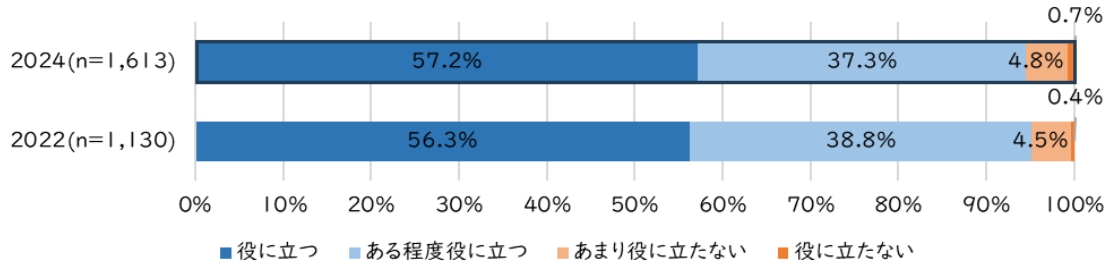


7. 専門分野の知識・技術の習得や今後の研究活動

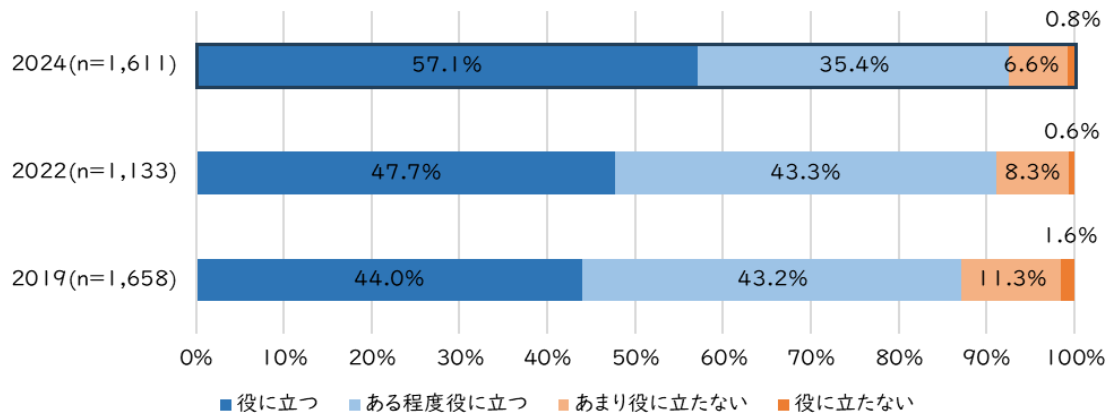


8. 国際教養の醸成につながる知識の習得

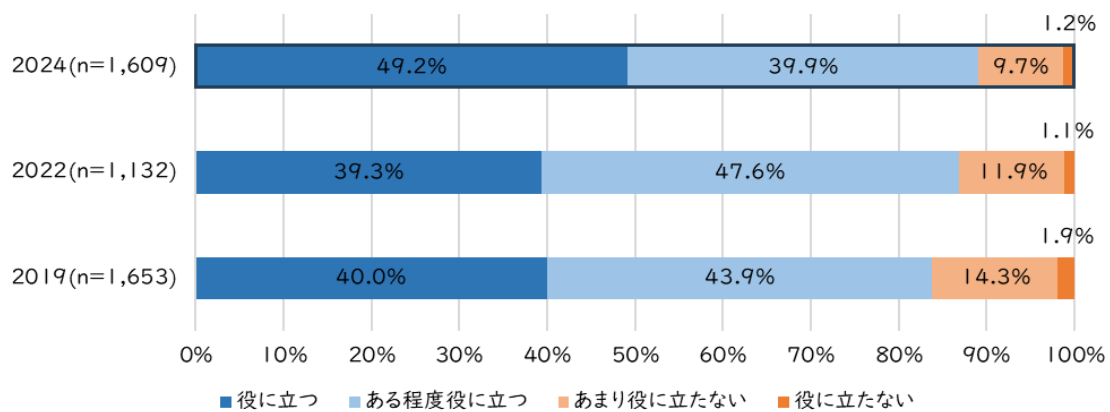
※2022年度から追加した質問



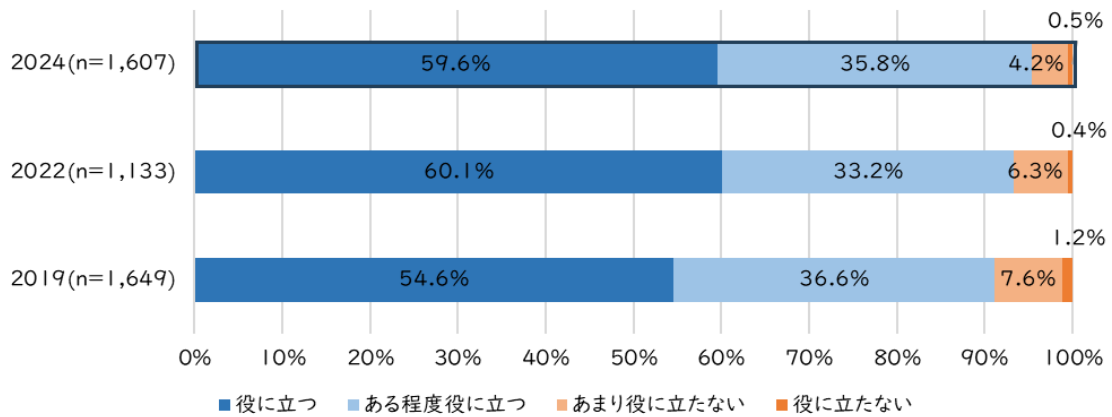
9. 進学も含めた将来の人生設計



10. 就職



11. 友人・知人関係などの人的ネットワークの形成

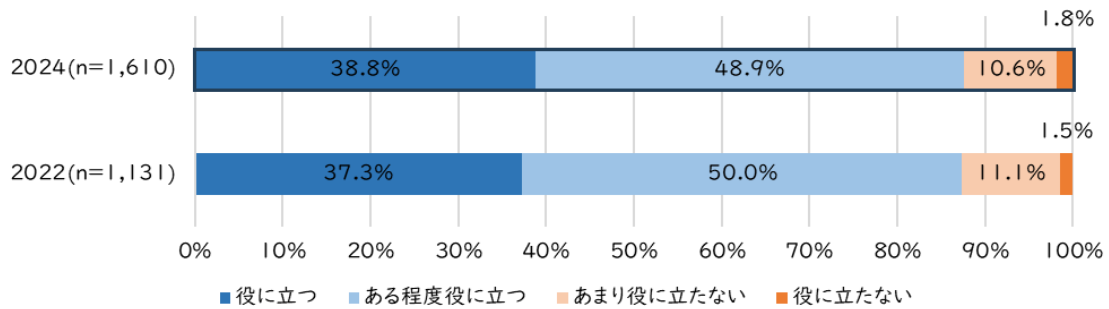


【オンライン留学】

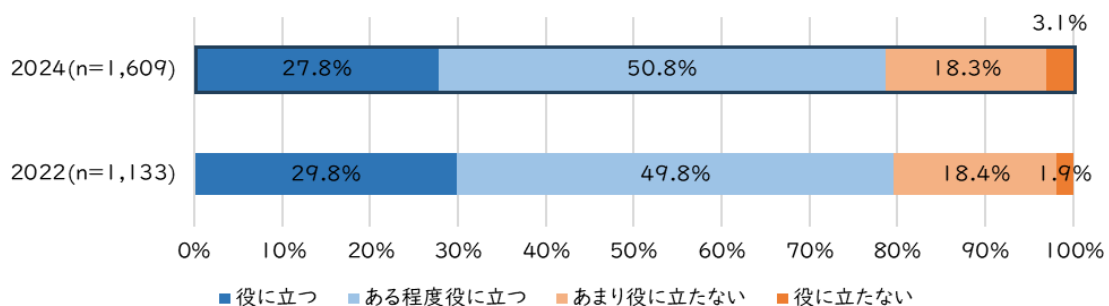
問 6. オンライン留学は、次のことに、どの程度役に立つと思いますか。

※オンライン留学は2020年度に開始したため、2022年度からオンライン留学に関する質問を追加した。

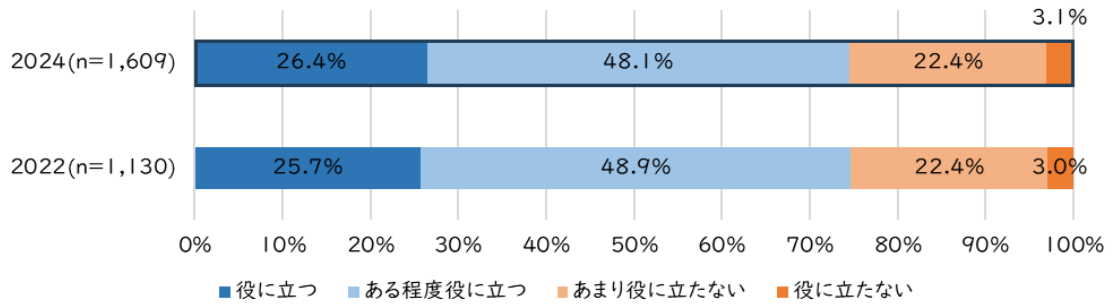
1. 外国語能力の向上



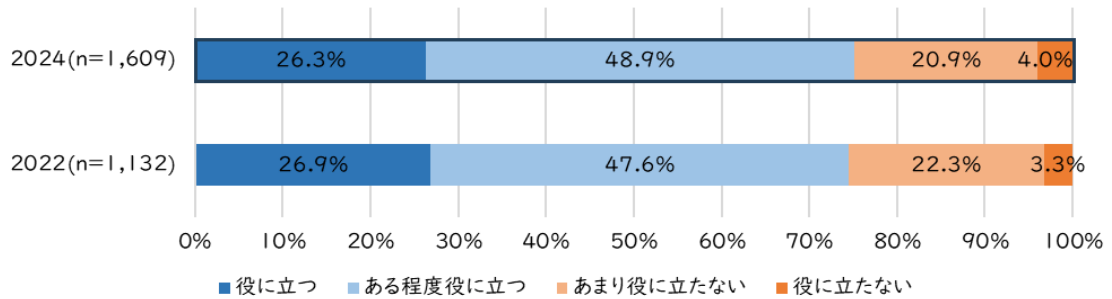
2. コミュニケーション力の向上



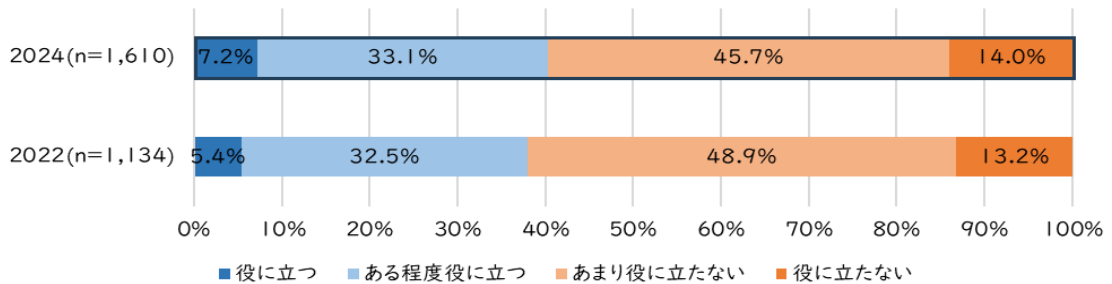
3. 異文化交流・異文化理解の深化



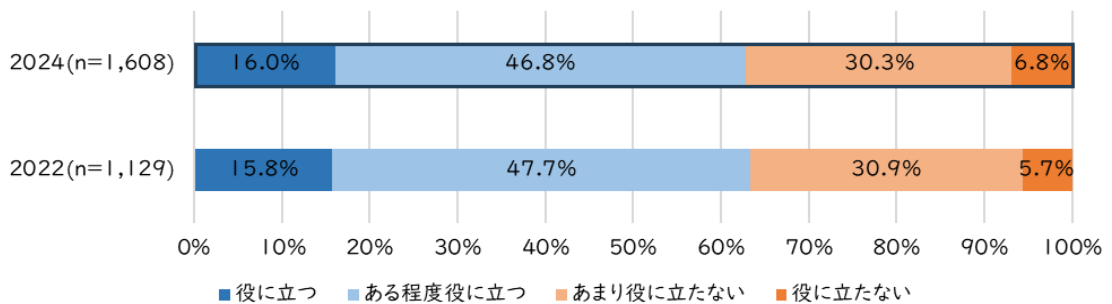
4. 国際的な視野を持つこと



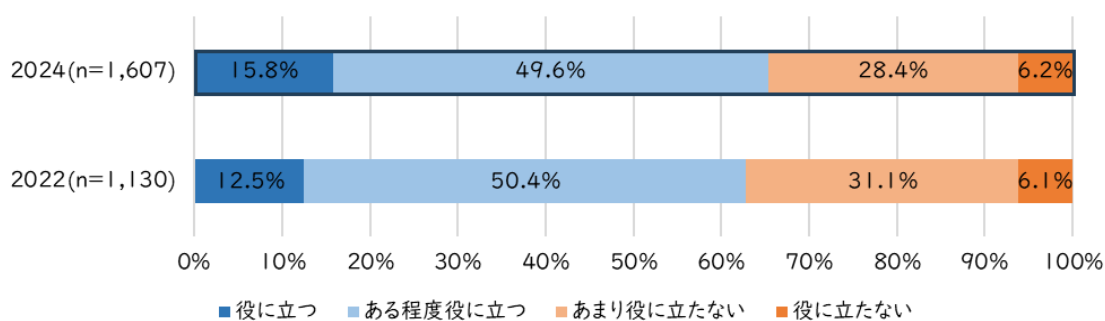
5. リーダーシップの向上



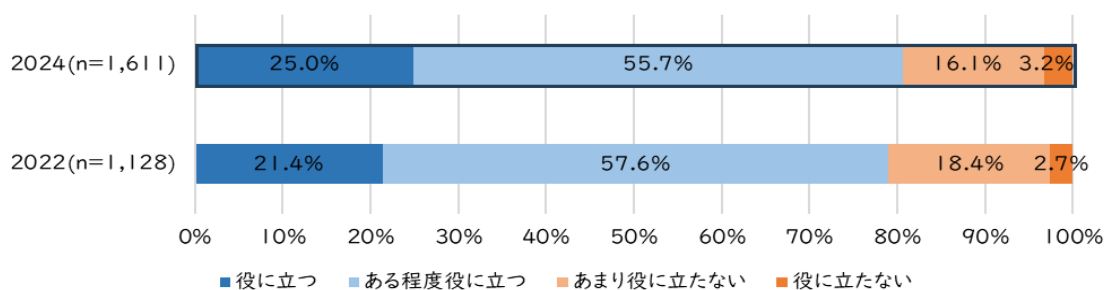
6. 自発的な行動力の向上



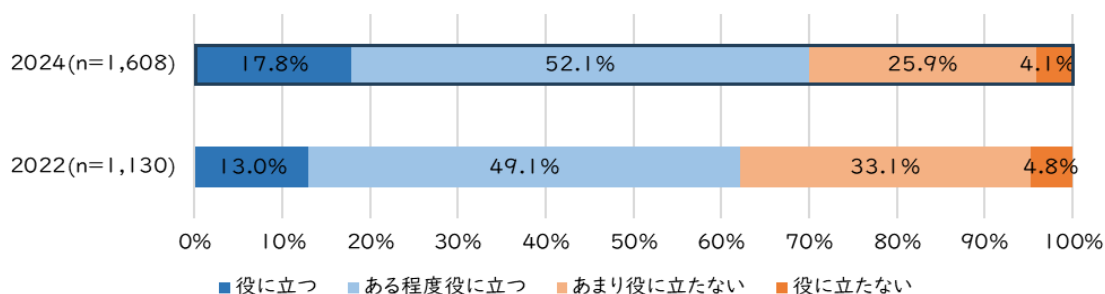
7. 専門分野の知識・技術の習得や今後の研究活動



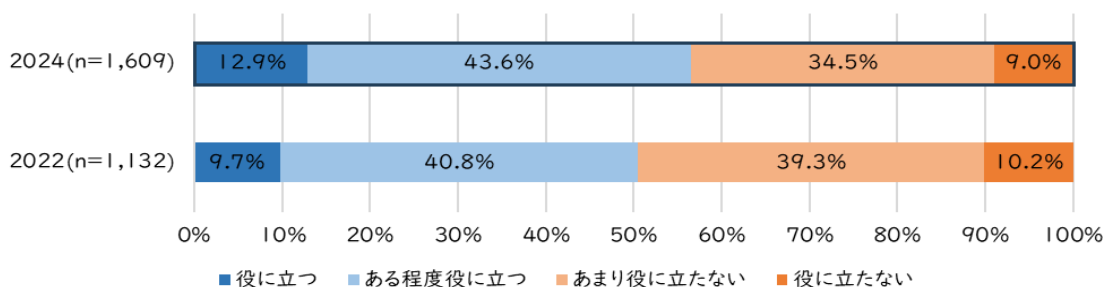
8. 国際教養の醸成につながる知識の習得



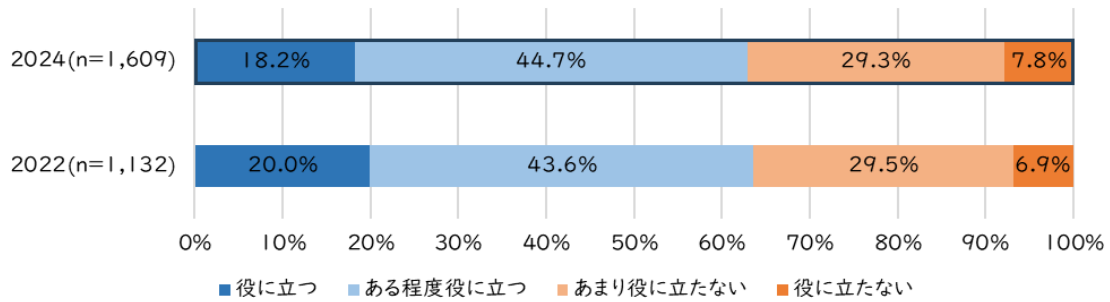
9. 進学も含めた将来の人生設計



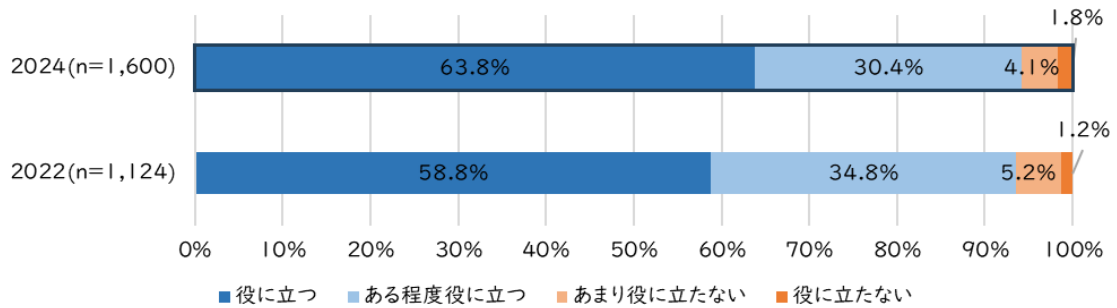
10. 就職



11. 友人・知人関係などの人的ネットワークの形成

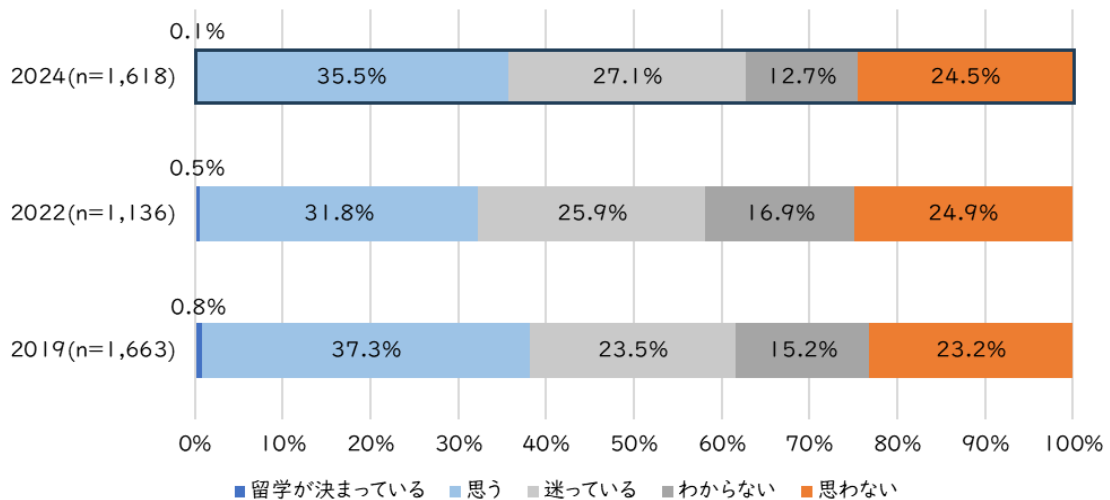


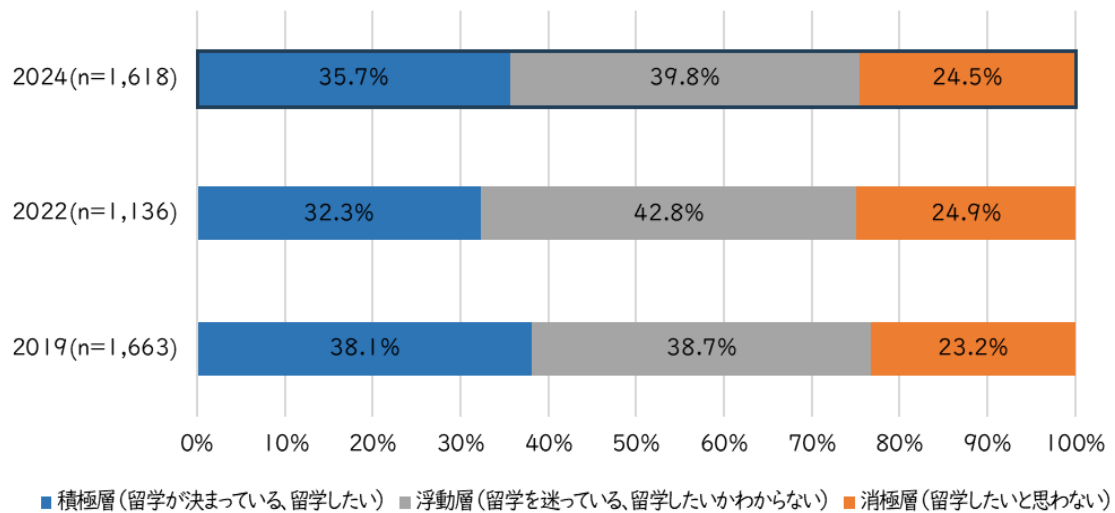
12. 現地留学の準備



3. 留学に対する志向

問12. 留学したいと思いますか。





【積極層 (留学が決まっている・留学したい)】

問13. 今後、留学するならば、いつ留学したいですか。該当するすべてを選んでください。

全回答者に占める回答者の割合

留学時期	2024	2022	2019
	回答者 (n=574)	回答者 (n=362)	回答者 (n=618)
大学学部で	88.0%	83.7%	89.0%
大学院修士課程で	36.8%	36.7%	29.1%
大学院博士課程で	10.3%	11.3%	9.2%
大学卒業後	18.1%	22.9%	17.2%
大学院修士課程修了後	6.4%	8.6%	6.1%
大学院博士号取得後	4.7%	4.7%	4.7%
その他	0.9%	0.8%	0.8%

問14. 今後、留学するならば、どんな留学がしたいですか。該当するすべてを選んでください。

全回答者に占める回答者の割合

留学の種類	2024	2022	2019
	回答者(n=571)	回答者(n=359)	回答者(n=523)
【現地留学】交換留学	56.4%	60.2%	2.9%
【現地留学】スタディアブロードプログラム(SAP)	51.0%	45.7%	35.4%
【現地留学】研究留学	48.9%	49.3%	21.6%
【現地留学】所属学部の海外研修プログラム	33.8%	39.0%	27.9%
【現地留学】教員引率型プログラム(FL)	32.4%	31.2%	29.8%
【現地留学】海外ボランティア	23.8%	26.7%	22.8%
【現地留学】海外の大学院への進学	20.5%	22.0%	20.7%
【現地留学】グローバルラーニングセンターの海外体験プログラム	18.9%	23.4%	15.3%
【現地留学】海外インターンシップ	18.2%	20.9%	18.0%
【現地留学】グローバルラーニングセンターのショートプログラム	17.2%	22.0%	14.9%
【現地留学】その他の語学・文化研修	15.2%	18.7%	5.9%
【オンライン留学】海外の大学が提供する1学期間の授業科目の履修	4.9%	8.1%	0.0%
【オンライン留学】オンライン短期留学	4.6%	10.9%	0.0%
その他	0.9%	0.3%	0.4%

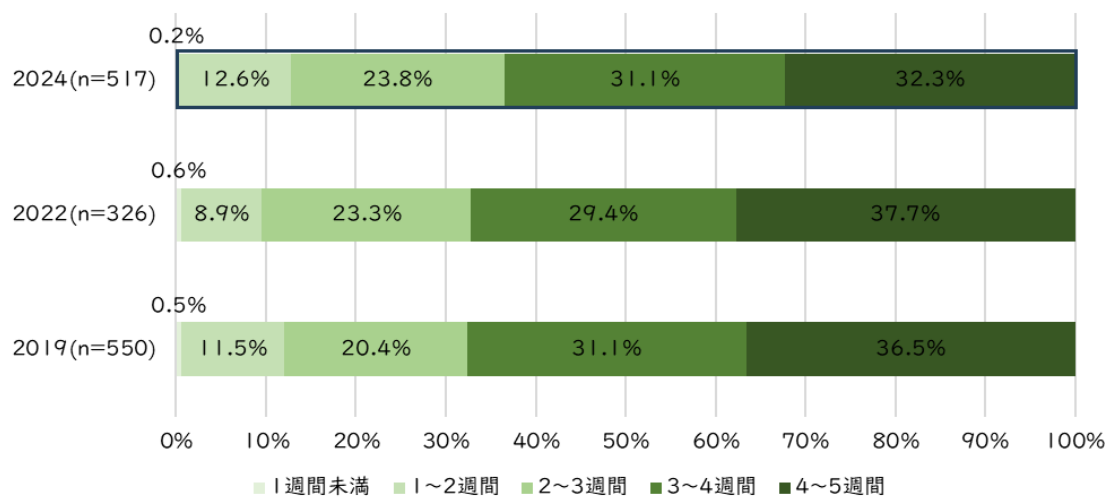
問15. 短期の現地留学(1ヶ月程度)をしたいと思っている人にお尋ねします。

① 最も留学したい地域・国を1つ選んでください。

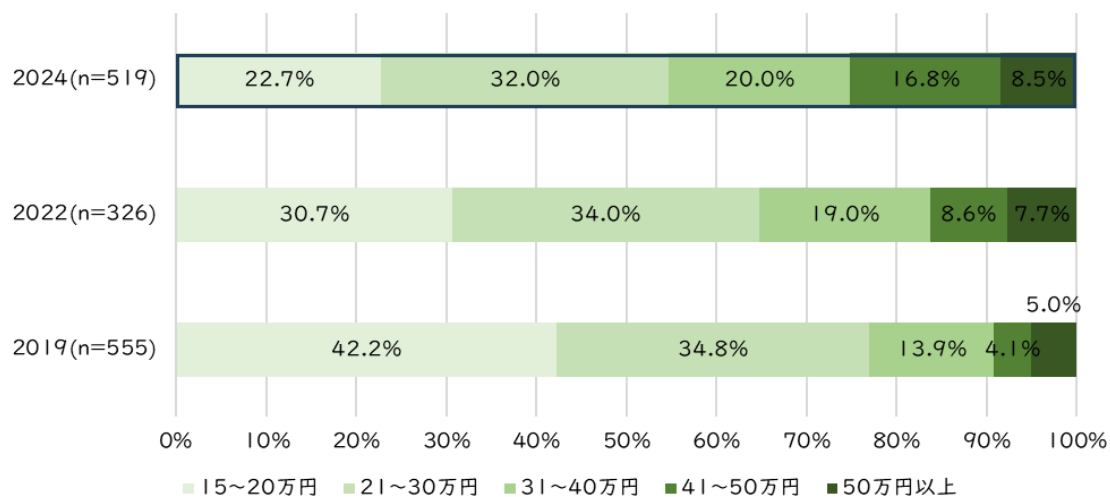
全回答者に占める回答者の割合

地域・国	2024	2022	2019
	回答者(n=510)	回答者(n=322)	回答者(n=548)
北米	40.4%	42.5%	36.1%
欧州	33.1%	31.1%	32.5%
英国	9.0%	13.4%	14.6%
オセアニア	7.5%	5.3%	7.7%
東南アジア	4.9%	3.7%	3.8%
東アジア	2.4%	1.6%	2.7%
中南米	2.0%	0.9%	1.1%
アフリカ	0.4%	0.6%	0.7%
中東	0.2%	0.6%	0.0%
南アジア	0.2%	0.3%	0.7%

② 最も留学した留学期間を1つ選んでください。



③ 留学費用について、自己負担可能な金額の上限を1つ選んでください。

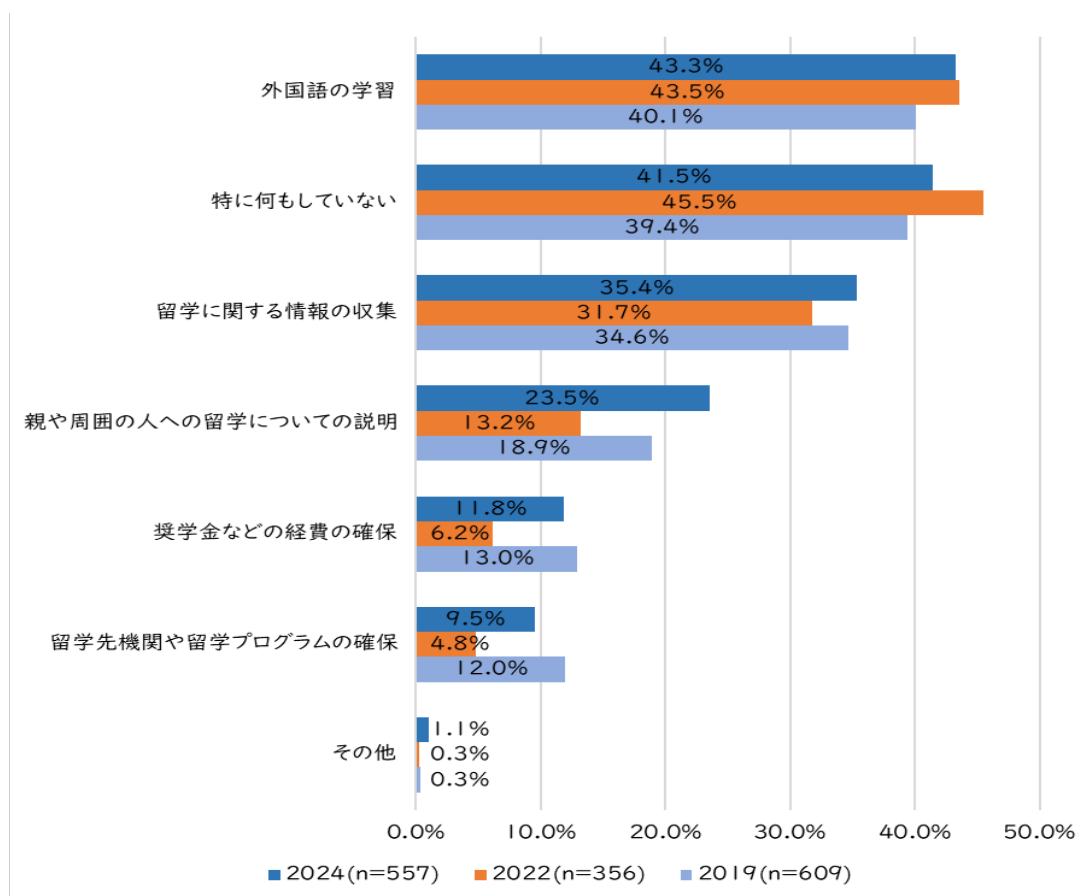


④ 最も勉強したい外国語を1つ選んでください。

全回答者に占める回答者の割合

外国語	2024	2022	2019
	回答者(n=504)	回答者(n=320)	回答者(n=545)
英語	92.3%	89.1%	89.9%
スペイン語	2.6%	1.9%	2.6%
フランス語	2.2%	3.8%	2.6%
ドイツ語	1.6%	2.8%	1.8%
韓国語	0.6%	0.6%	0.6%
中国語	0.6%	0.3%	2.0%
ロシア語	0.2%	0.6%	0.4%
その他	0.0%	0.9%	0.2%

問16. 現在、留学に向けて具体的に準備していることはありますか。



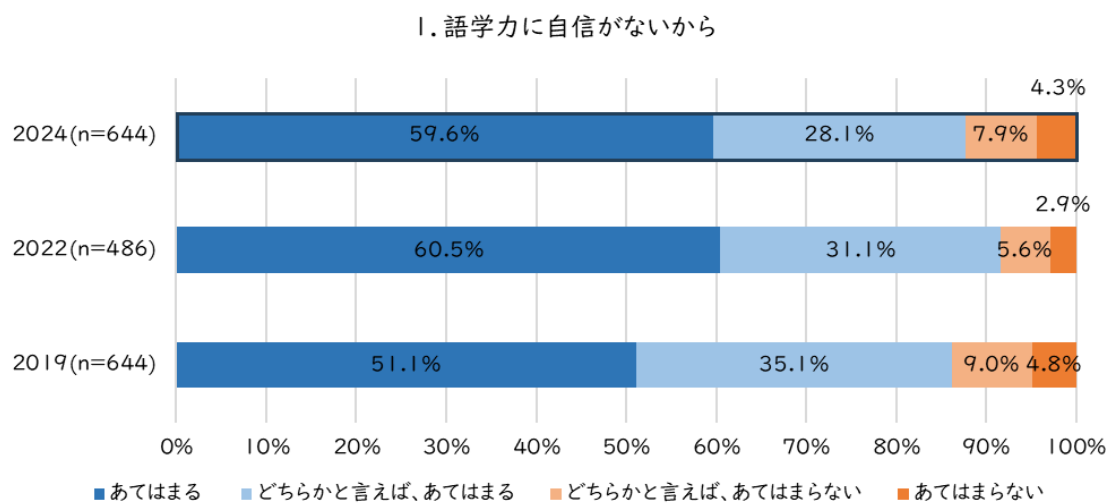
問17. 留学したいと思う理由について、最も当てはまるものを3つ選んでください。

全回答者に占める回答者の割合

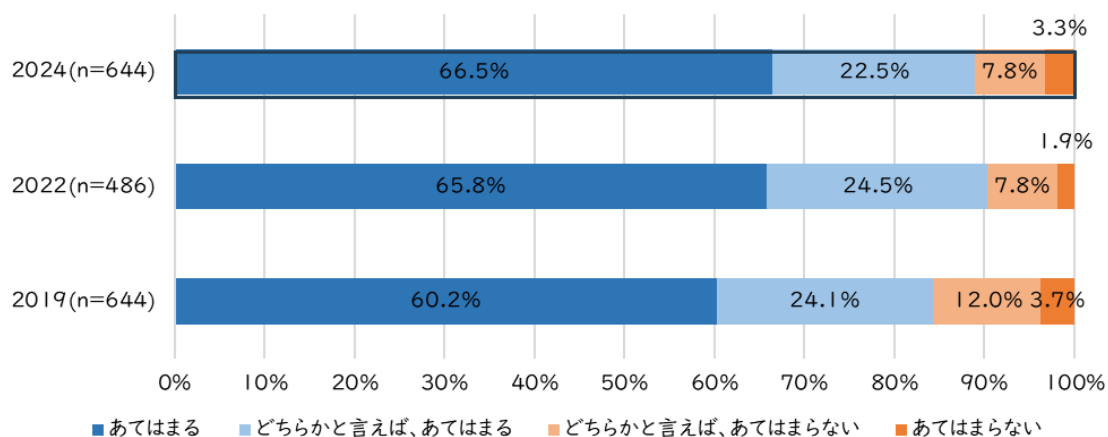
留学したいと思う理由	2024	2022	2019
	回答者(n=563)	回答者(n=357)	回答者(n=620)
語学力向上のため	78.9%	73.4%	81.3%
異文化交流・異文化理解をしたいから	40.7%	37.8%	41.6%
コミュニケーション力向上のため	34.1%	28.3%	44.4%
外国生活によって視野を広げたいから	33.7%	35.9%	30.3%
進学も含めた将来のキャリアのため	20.1%	23.5%	25.6%
自分を鍛えたいから	19.7%	18.8%	17.6%
国際的な教養を身に着けたいから	17.2%	18.2%	---
専門分野の知識・技術の習得や研究のため	16.5%	23.8%	16.9%
自発的な行動力を身に着けたいから	9.8%	14.3%	11.3%
就職に有利だから	9.1%	6.2%	8.9%
海外での人脈を作りたいから	8.3%	10.6%	9.7%
とにかく留学したいから	6.7%	4.5%	5.8%
日本での生活に満足していないから	2.7%	3.6%	4.2%
特になし	2.1%	0.6%	1.6%
その他	0.7%	0.6%	0.2%
大学の教育課程に留学が組み込まれているから	0.7%	0.3%	0.6%

【浮動層(留学を迷っている・留学したいかわからない)】

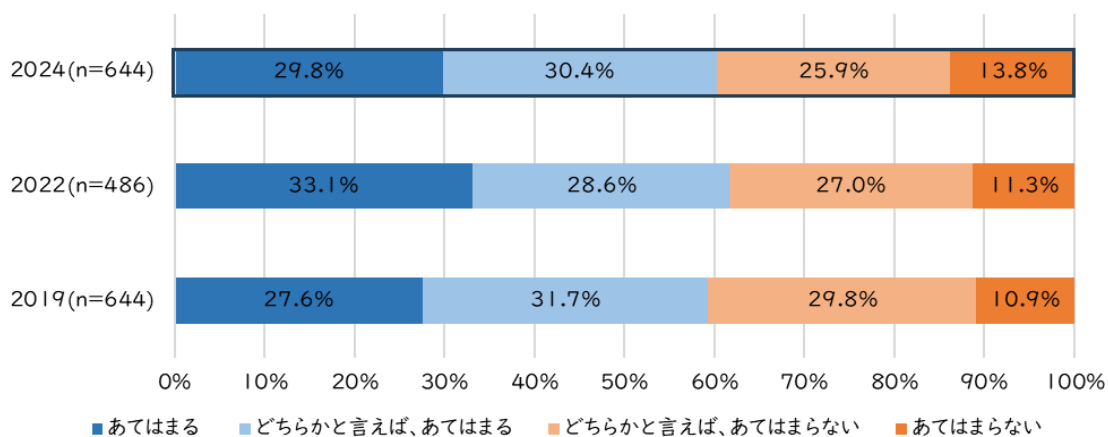
問19. 留学をためらう理由について、どの程度当てはまるかを1つ選んで下さい。



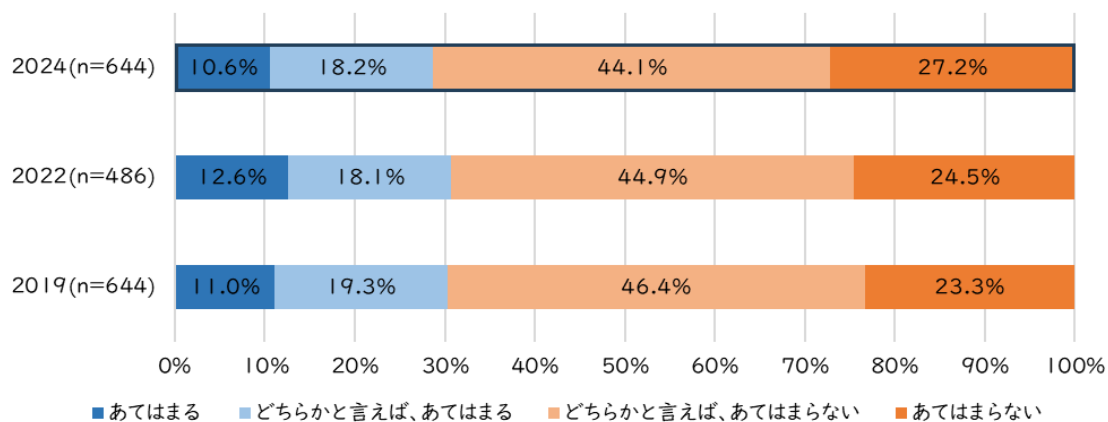
2. 留学費用がかかるから



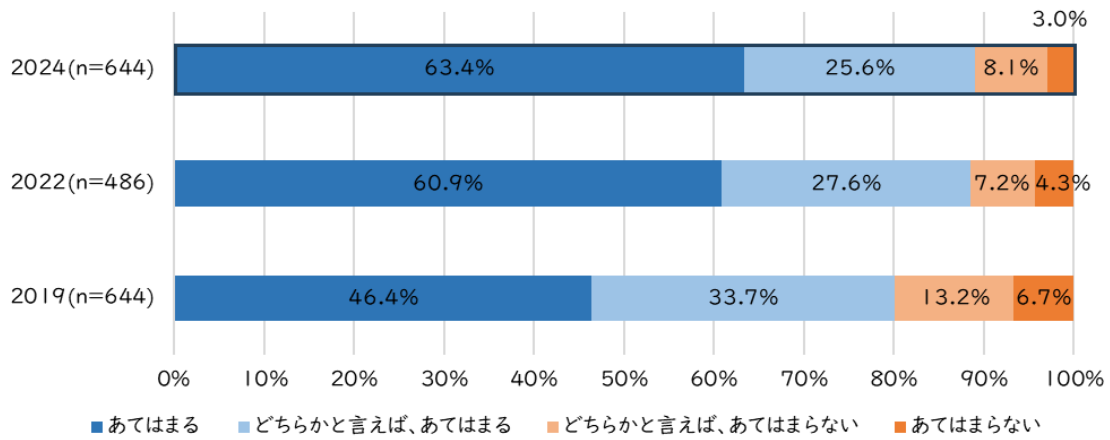
3. 卒業時期が遅れるから



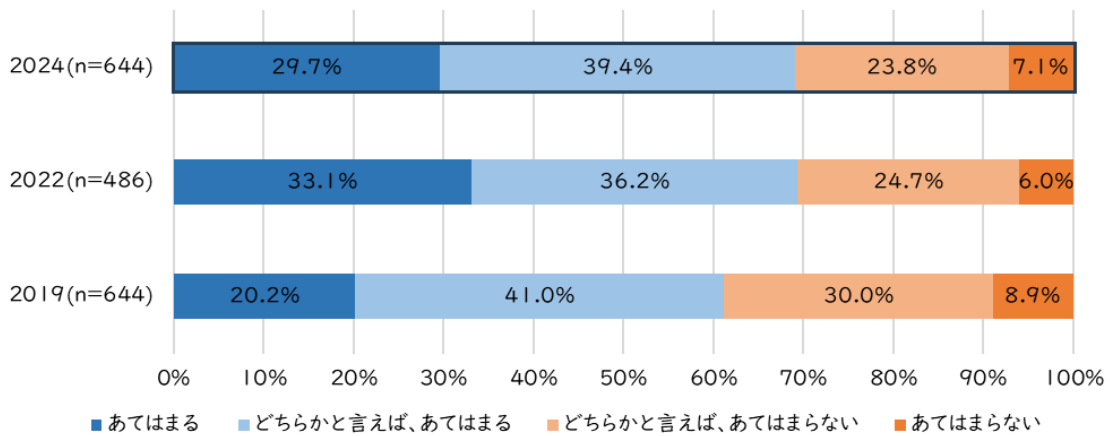
4. 就職活動に影響するから



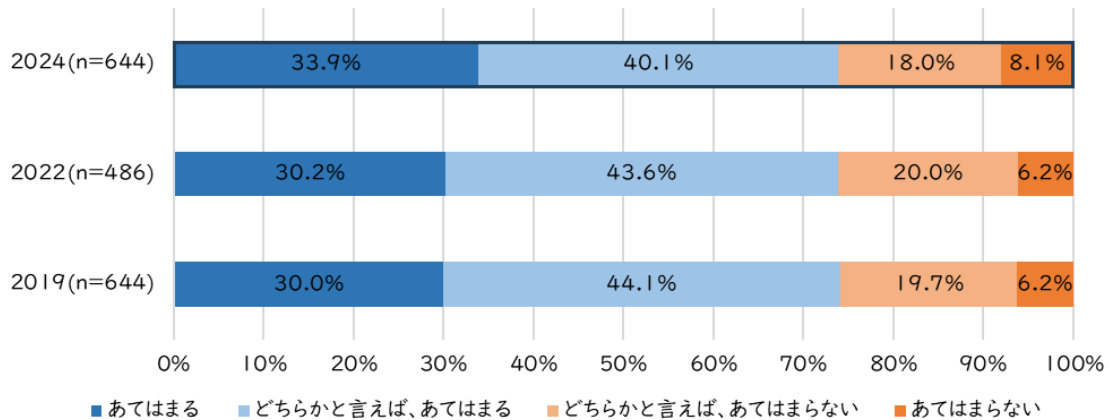
5. 海外での生活に不安を感じるから



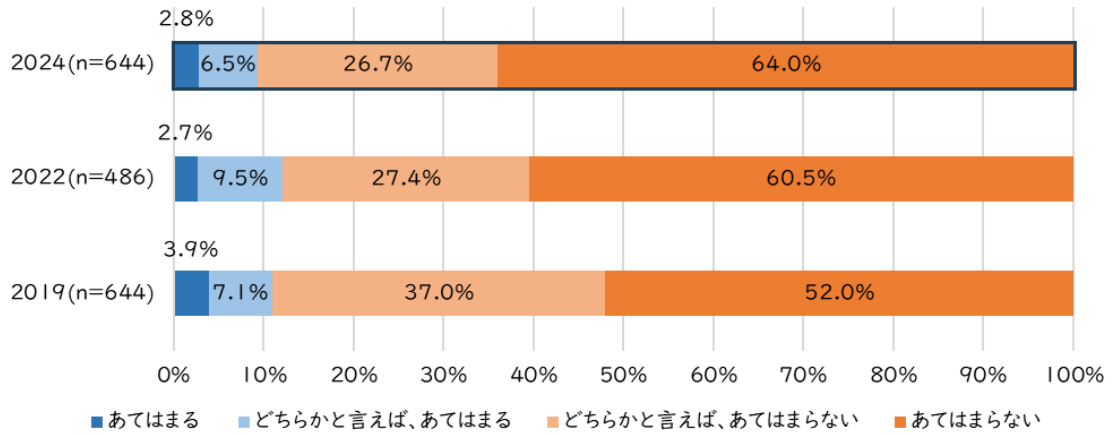
6. 情報収集が難しいから



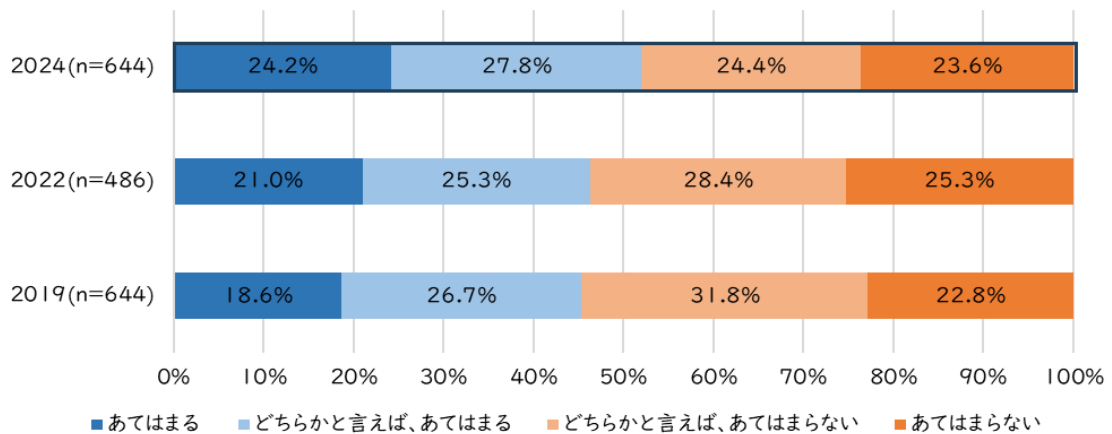
7. 留学の手続が面倒だから



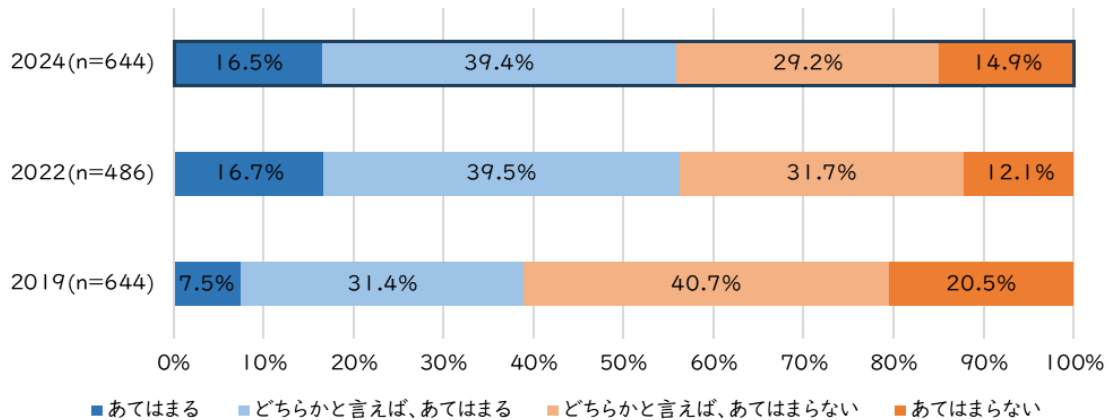
8. 家族が反対するから



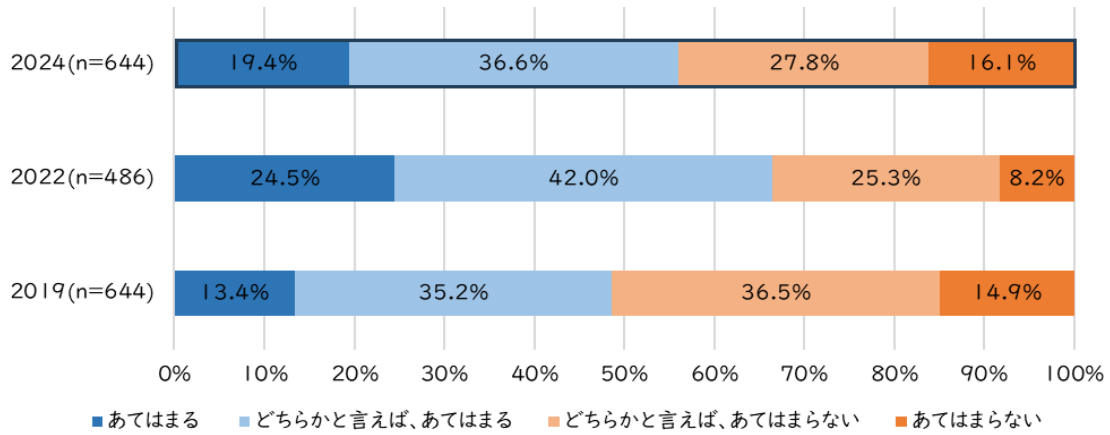
9. 身近な人間関係やサークル活動やアルバイトに影響するから



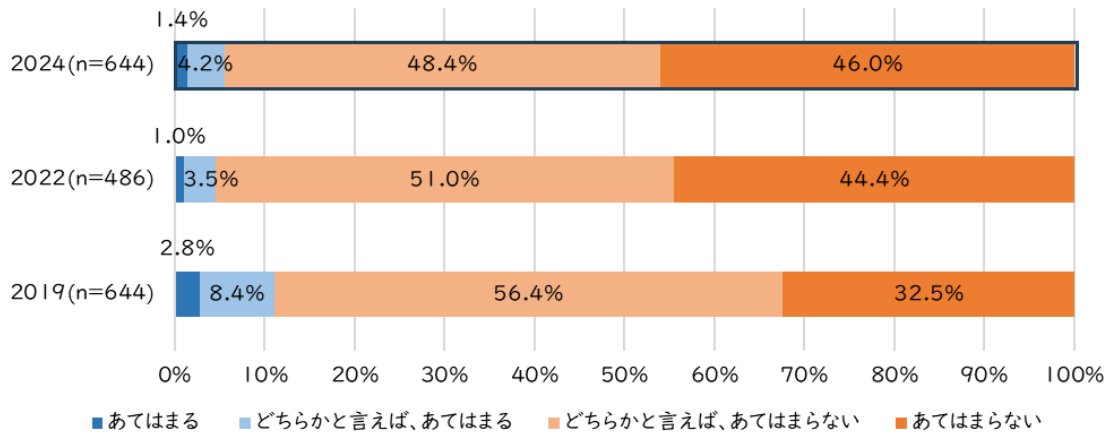
10. 東北大学の授業に満足しているから



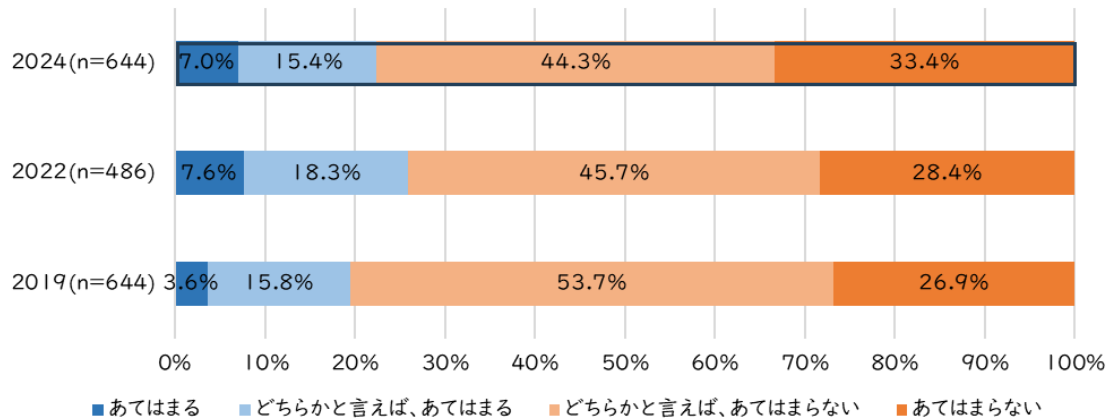
11. 東北大学での学業・研究と両立できないから



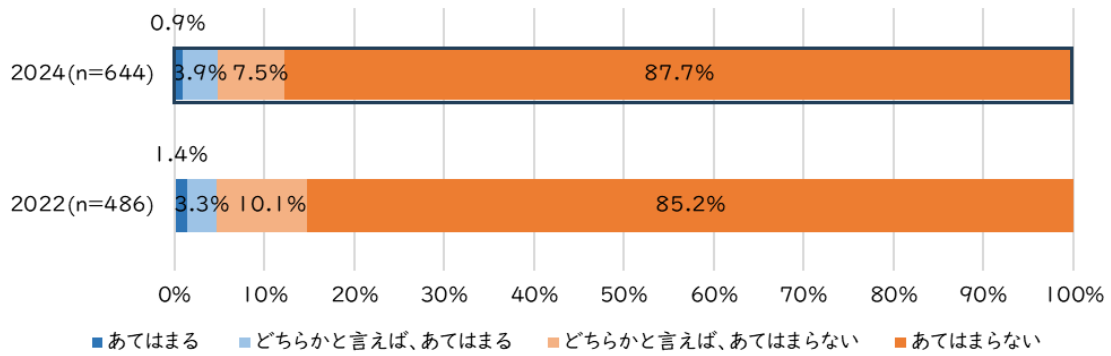
12. 東北大学に適切な留学プログラムがないから



13. 将来のキャリアと関係がないから



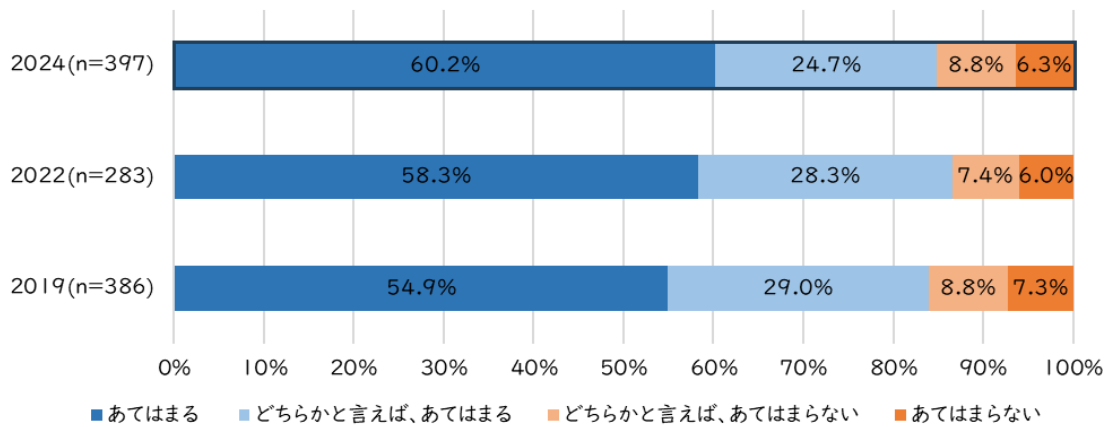
14. 留学はもう経験したから



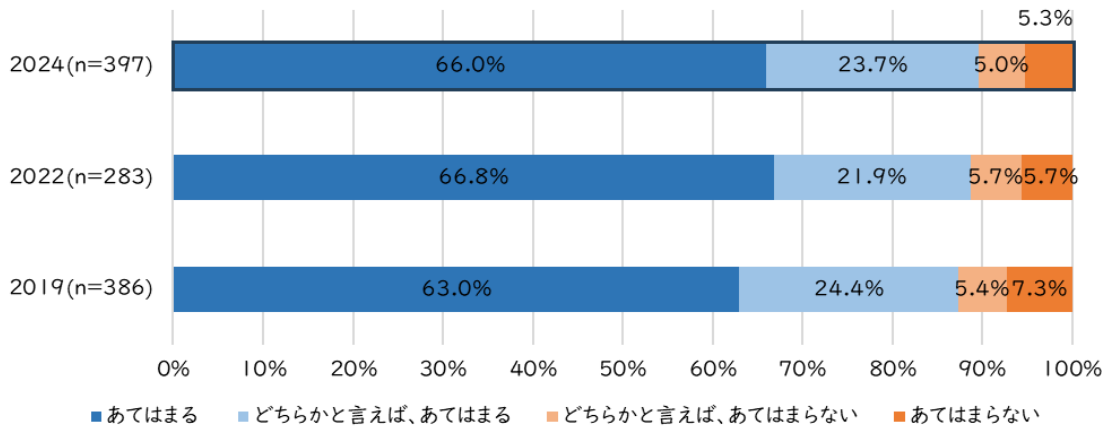
【消極層（留学したいと思わない）】

問21. 留学をしたいと思わない理由について、どの程度当てはまるかを1つ選んでください。

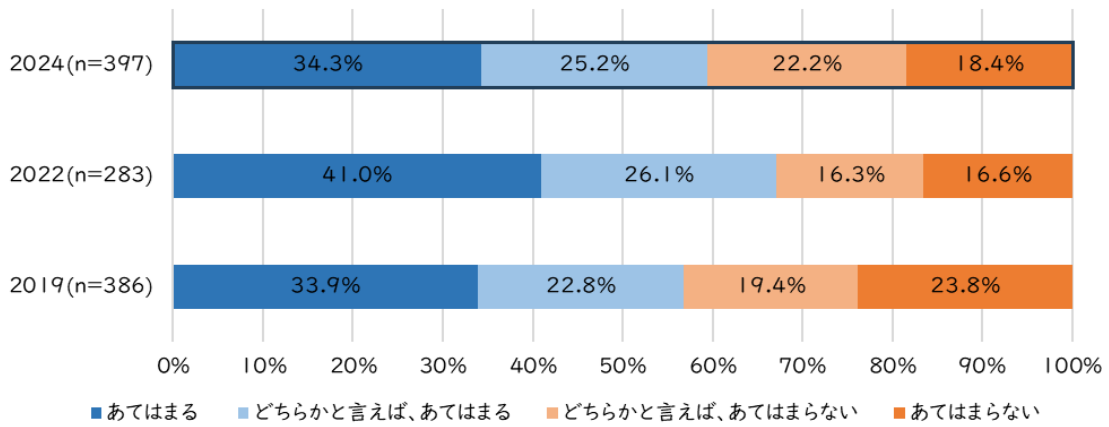
1. 語学力に自信がないから



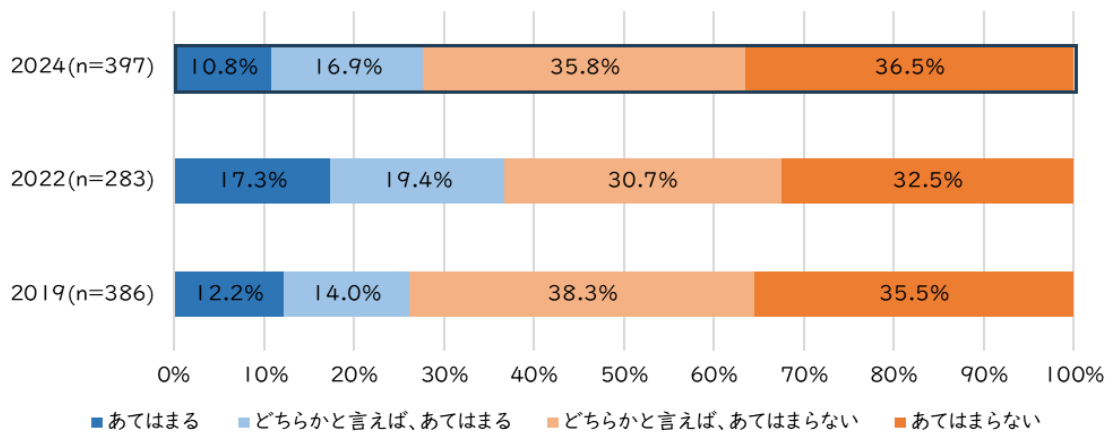
2. 留学費用がかかるから



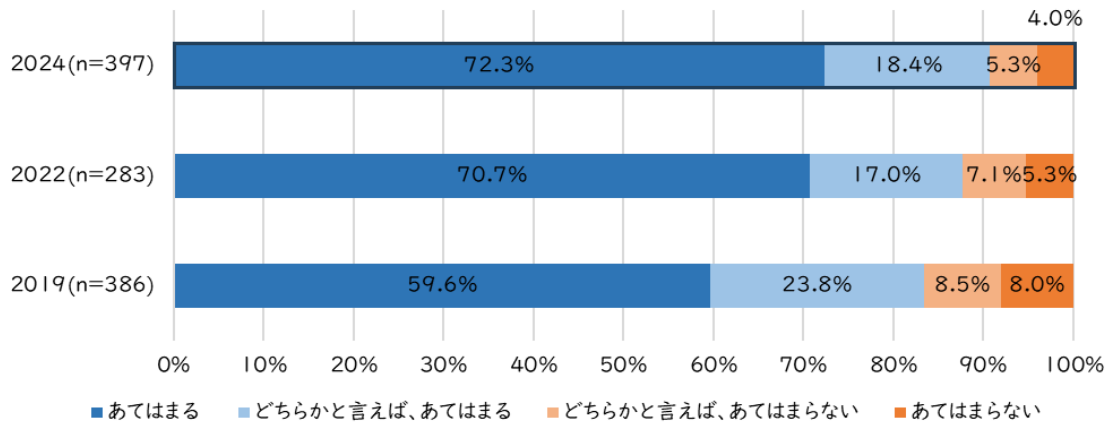
3. 卒業時期が遅れるから



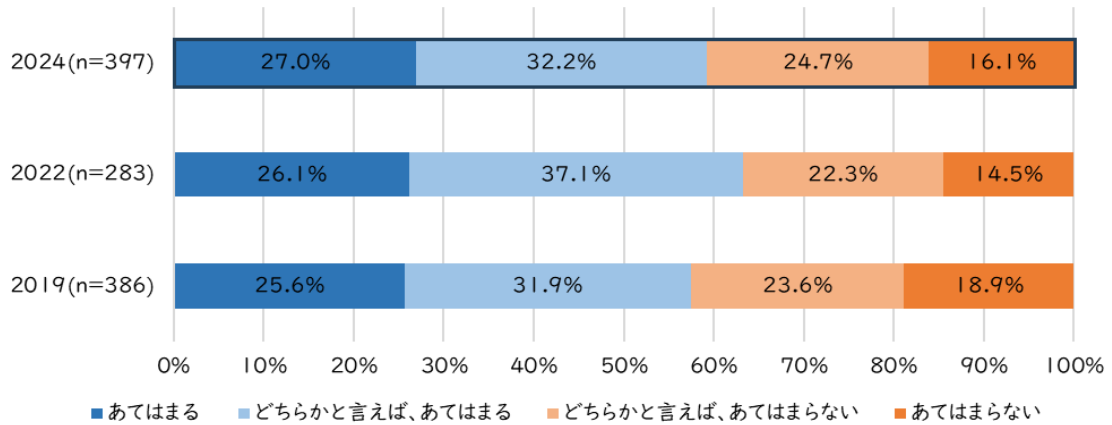
4. 就職活動に影響するから



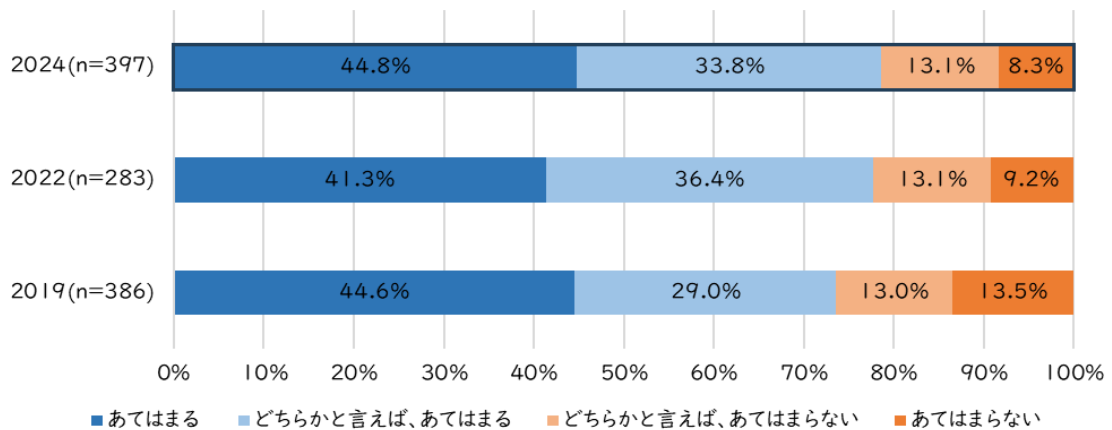
5. 海外での生活に不安を感じるから



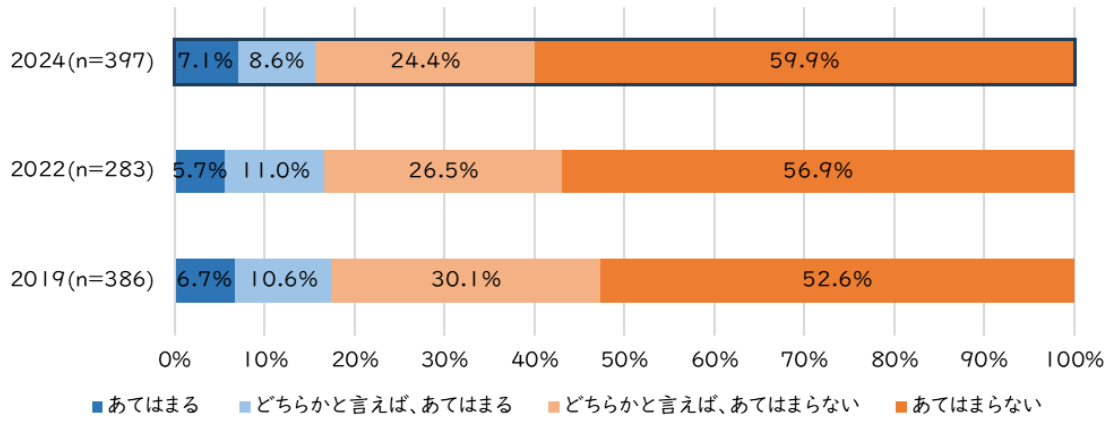
6. 情報収集が難しいから



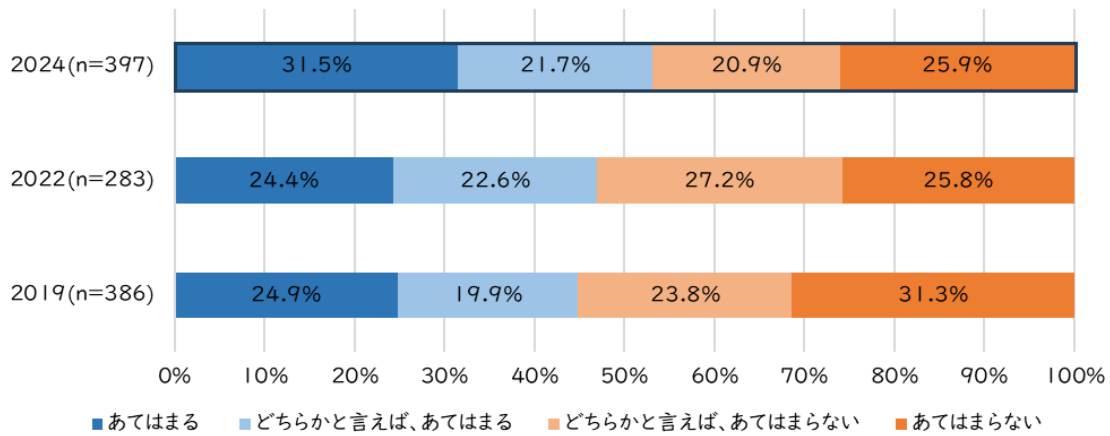
7. 留学の手続きが面倒だから



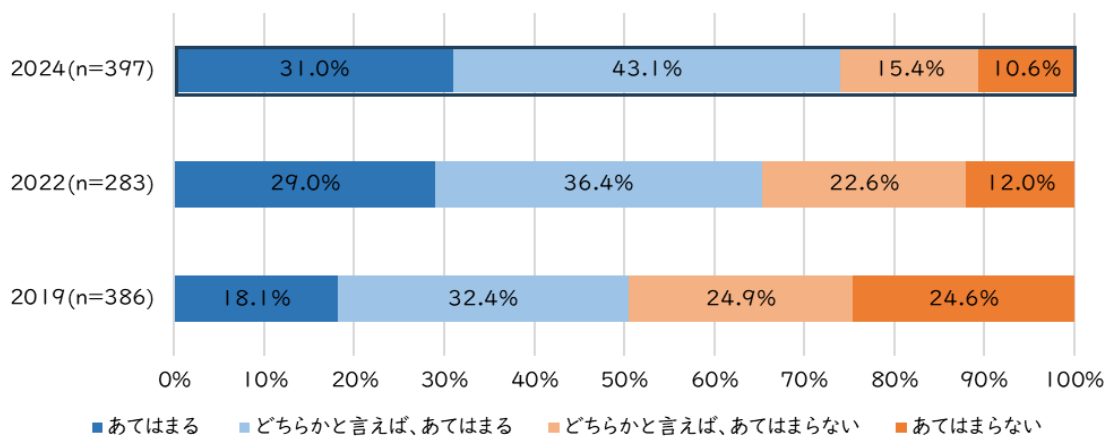
8. 家族が反対するから



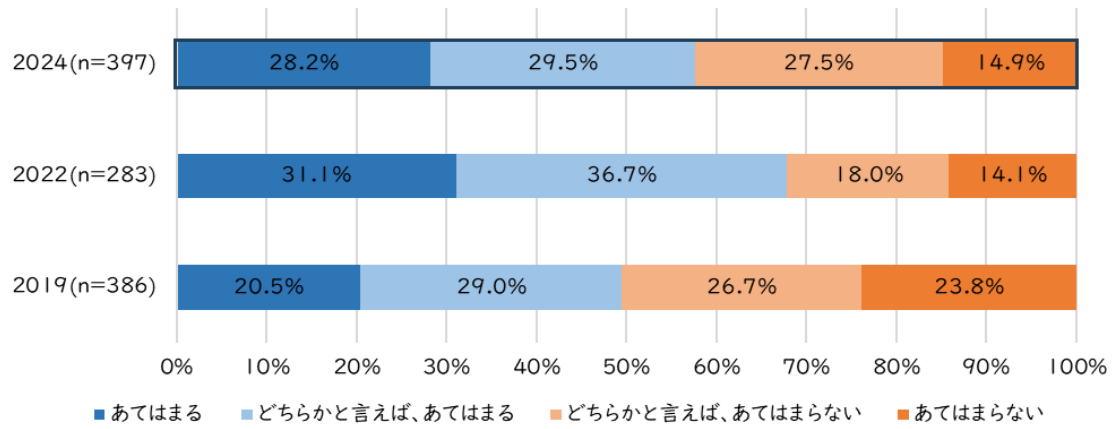
9. 身近な人間関係やサークル活動やアルバイトに影響するから



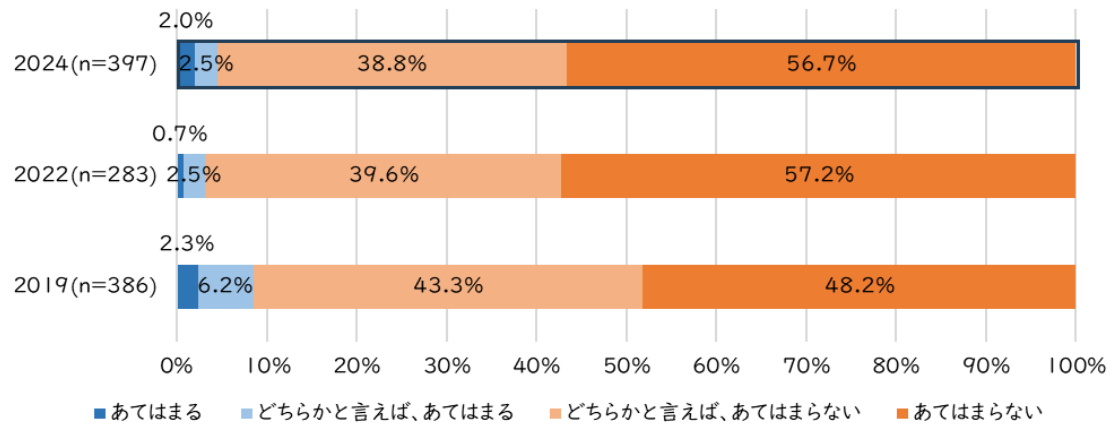
10. 東北大学の授業に満足しているから



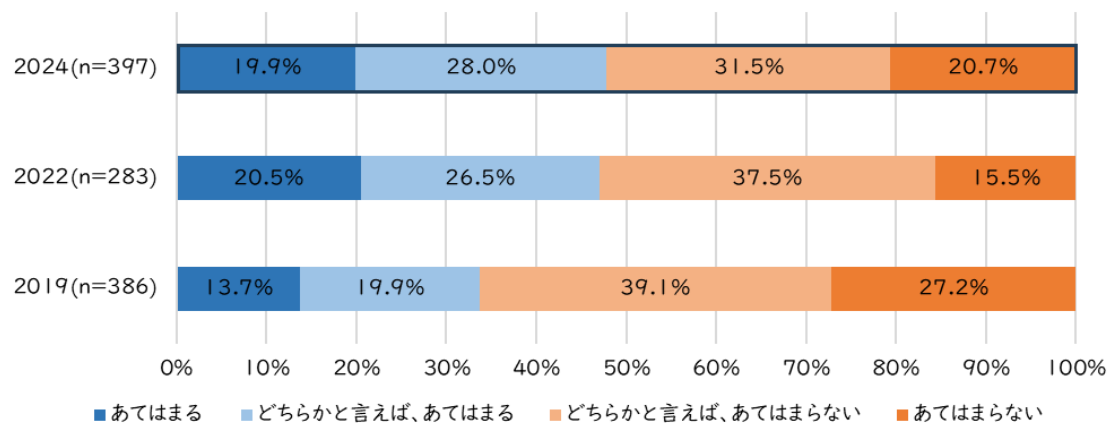
11. 東北大学での学業・研究と両立できないから



12. 東北大学に適切な留学プログラムがないから



13. 将来のキャリアと関係がないから



14. 留学はもう経験したから

